

## show lane bus $\sim$ vc-class atm

- show lane bus  $(3 \sim )$
- show lane client (6ページ)
- show lane config  $(10 \sim \circlearrowleft)$
- show lane database (13 ページ)
- show lane default-atm-addresses (15ページ)
- show lane le-arp (17ページ)
- show lane neighbor (19ページ)
- show lane server (21 ページ)
- show mpoa client (24 ページ)
- show mpoa client cache (26 ページ)
- show mpoa client statistics (29 ページ)
- show mpoa default-atm-addresses (31 ページ)
- show mpoa server (33 ページ)
- show mpoa server cache  $(35 \sim \circlearrowleft)$
- show mpoa server statistics  $(38 \sim )$
- show network-clocks (40 ページ)
- show sscop (43 ページ)
- show svc  $(46 \sim )$
- snmp-server enable traps atm pvc  $(49 \sim \circlearrowleft)$
- snmp-server enable traps atm pvc extension (51 ページ)
- snmp-server enable traps atm pvc extension mibversion (56 ページ)
- snmp-server enable traps atm subif (58 ページ)
- sscop cc-timer (61 ページ)
- sscop keepalive-timer (62 ページ)
- sscop max-cc  $(63 \sim \circlearrowleft)$
- sscop poll-timer (64 ページ)
- sscop receive-window (65 ページ)
- sscop send-window (66 ページ)
- svc (67ページ)

- transmit-priority (70 ページ)
- tx-limit (74 ページ)
- ubr (77ページ)
- ubr+ (81 ページ)
- ubr+ cos (85 ページ)
- vbr-nrt (87 ページ)
- vbr-rt (91 ページ)
- vc-class atm (94ページ)

## show lane bus

インターフェイスまたはそのサブインターフェイスのいずれか、指定のサブインターフェイス、またはエミュレート LAN(ELAN)上に設定されている Broadcast and Unknown Server (BUS) の LAN エミュレーション(LANE)に関する詳細情報を表示するには、特権 EXECモードで showlanebus コマンドを使用します。

Cisco 7500 シリーズルータの AIP、Cisco 7200 シリーズの ATM ポート アダプタ show lane bus [{interface atm slot/port [. subinterface-number]|name elan-name}] [brief]

Cisco 7500 シリーズルータの ATM ポート アダプタ show lane bus [{interface atm slot/port-adapter/port [. subinterface-number]|name elan-name}] | [brief]

Cisco 4500 および 4700 ルータ show lane bus [{interface atm number [. subinterface-number]|name elan-name}] [brief]

## 構文の説明

interfaceatm slot/port	(任意) 次のATMインターフェイスのスロットおよびポート。
	• Cisco 7500 シリーズ ルータ上の AIP。
	• Cisco 7200 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタ。
interfaceatm slot / port-adapter / port	(任意) Cisco 7500 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタの ATM インターフェイス スロット、ポート アダプタ、および ポート番号。
interfaceatm number	(任意) Cisco 4500 または 4700 ルータの NPM の ATM インターフェイス番号。
. subinterface-number	(任意) サブインターフェイス番号。
name elan-name	(任意) ELAN の名前。名前の最大長は32文字です。
brief	(任意) 利用可能な情報の簡易サブセットを表示します。

## コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。

例

リリース	変更箇所
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

以下に、イーサネット ELAN に対する showlanebus コマンドの出力例を示します。

```
Router# show lane bus
```

以下に、トークン リング LANE に対する showlanebus コマンドの出力例を示します。

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

### 表 1: show lane bus のフィールドの説明

フィールド	説明
LE BUS ATM2/0.2	情報の表示対象のインターフェイスおよびサブインターフェイス。
ELAN name	この BUS の ELAN の名前。
Admin	管理状態: up または down。
State	この LANE BUS のステータス。表示される可能性がある状態は、down および operational です。
type	ELAN の種類。
Max Frame Size	ELAN の最大フレーム サイズ(バイト単位)。
Segment id	ELAN のリング番号。このフィールドはトークン リング LANE の場合にの み表示されます。
ATM address	この LANE BUS の ATM アドレス。

フィールド	説明
data forward	データ転送 VCC の仮想チャネル記述子、VCC に接続されている LANE クライアントの数、および VCC で送信されたパケットの数。
lecid	データ転送VCC上の各LANEクライアントに割り当てられている識別子。
ved	LANE クライアントに到達するために使用される仮想チャネル記述子。
pkts	BUS から LANE クライアントに送信されたパケットの数。
ATM Address	LANE クライアントの ATM アドレス。

## show lane client

インターフェイスまたはそのサブインターフェイスのいずれか、指定のサブインターフェイス、またはエミュレート LAN(ELAN)上に設定されているすべての LANE クライアントの LANエミュレーション(LANE)に関する詳細情報を表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **showlaneclient** コマンドを使用します。

Cisco 7500 シリーズルータの AIP、Cisco 7200 シリーズの ATM ポート アダプタ show lane client detail [{interface atm slot/port [. subinterface-number]|name elan-name}] | [brief]

Cisco 7500 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタ

**show lane client detail** [{interface atm slot/port-adapter/port [. subinterface-number]|name elan-name}] [brief]

Cisco 4500 および 4700 ルータ

**show lane client detail** [{interface atm number [. subinterface-number]|name elan-name}] [brief]

## 構文の説明

detail	詳細な FSSRP 情報を表示します。
interfaceatm slot/port	(任意)次のATMインターフェイスのスロットおよびポート。
	• Cisco 7500 シリーズ ルータ上の AIP。
	• Cisco 7200 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタ。
interfaceatm	(任意) Cisco 7500 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタの
slot/port-adapter/port	ATMインターフェイススロット、ポートアダプタ、およびポート番号。
interfaceatm number	(任意) Cisco 4500 または 4700 ルータの NPM の ATM インターフェイス番号。
. subinterface-number	(任意) サブインターフェイス番号。
name elan-name	(任意) ELAN の名前。名前の最大長は32文字です。
brief	(任意) 利用可能な情報の簡易サブセットを表示します。

## コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.0	このコマンドが導入されました。

例

リリース	変更箇所
12.0(5)T	<b>detail</b> オプションとコマンド出力行「This client is running in FSSRP mode」が追加されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

以下に、イーサネット ELAN に対する showlaneclient コマンドの出力例を示します。

#### Router# show lane client

LE Client ATM2/0.2 ELAN name: elan2 Admin: up State: operational Client ID: 1 LEC up for 11 minutes 49 seconds Join Attempt: 1

HW Address: 0000.0ca0.5b40 Type: ethernet Max Frame Size: 1516

ATM Address: 39.020304050607080910111213.00000CA05B40.02

VCD rxFrames txFrames Type ATM Address 0 configure 39.020304050607080910111213.00000CA05B43.00 55 1 4 direct 39.020304050607080910111213.00000CA05B41.02 56 0 distribute 39.020304050607080910111213.00000CA05B41.02 59 1 send 39.020304050607080910111213.00000CA05B42.02 60 3 0 forward 39.020304050607080910111213.00000CA05B42.02 3 5 data 39.020304050607080910111213.00602F557940.02

以下に、トークン リング LANE に対する showlaneclient コマンドの出力例を示しま す。

#### Router# show lane client

LE Client ATM4/0.1 ELAN name: elan1 Admin: up State: operational Client ID: 1 LEC up for 2 hours 26 minutes 3 seconds

Join Attempt: 3

HW Address: 0060.4770.4180 Type: token ring Max Frame Size: 4544

ELAN Segment ID: 2048 Ring:100 Bridge:2 ATM Address: 39.020304050607080910111213.006047704180.01

VCD rxFrames txFrames Type ATM Address Ω Ω 0 configure 39.020304050607080910111213.006047704183.00 10 39.020304050607080910111213.006047704181.01 3 direct 11 2 0 distribute 39.020304050607080910111213.006047704181.01 0 0 send 39.020304050607080910111213.006047704182.01 14 15 Ω Ω forward 39.020304050607080910111213.006047704182.01

以下に、showlaneclient detail コマンドの出力例を示します。

### Router# show lane client detail

LE Client ATM1/0.1 ELAN name:xxx Admin:up State:operational Client ID:2 LEC up for 5 days 40 minutes 45 seconds

ELAN ID:0

This client is running in FSSRP mode.

Join Attempt:14 Known LE Servers:1

Configured Idle Time: 5 seconds

Last Fail Reason: Config VC being released

```
HW Address:00e0.8fcf.d820 Type:ethernet Max Frame Size:1516
ATM Address:47.0091810000000061705B0C01.00E08FCFD820.01

VCD rxFrames txFrames Type ATM Address
0 0 0 configure 47.00918100000000613E5A2F01.006070174823.00

LEC ID:2, State:LESBUS_ACTIVE
52 1778 3556 direct 47.00918100000000613E5A2F01.00000C5A0C59.01
53 1778 0 distribute 47.00918100000000613E5A2F01.00000C5A0C59.01
54 0 0 send 47.0091810000000613E5A2F01.00000C5A0C5A.01
55 0 0 forward 47.0091810000000613E5A2F01.00000C5A0C5A.01

LEC ID:3, State:LESBUS_ACTIVE
93 122 234 direct 47.00918100000000613E5A2F01.00000ABCD001.09
94 122 0 distribute 47.00918100000000613E5A2F01.00000ABCD001.09
97 0 0 send 47.00918100000000613E5A2F01.00000ABCD001.09
98 0 0 forward 47.00918100000000613E5A2F01.00000ABCD002.09
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

### 表 2: show lane client のフィールドの説明

フィールド	説明
LE Client ATM2/0.2	このクライアントのインターフェイスおよびサブインターフェイス。
ELAN name	ELAN の名前。
Admin	管理状態: up または down。
State	この LANE クライアントのステータス。表示される状態は、initialState、lecsConnect、configure、join、busConnect、operational のいずれかです。
Client ID	LANE サーバによって LANE に割り当てられた 2 バイトのクライアント ID。
Join Attempt	ELAN に正常に参加するまでに行われた試行回数。
HW Address	この LANE クライアントの MAC アドレス。
Туре	ELAN の種類。
Max Frame Size	ELAN の最大フレーム サイズ(バイト単位)。
Ring	クライアントのリング番号。このフィールドはトークン リング LANE の場合にのみ表示されます。
Bridge	クライアントのブリッジ番号。このフィールドはトークン リング LANE の場合にのみ表示されます。
ELAN Segment ID	ELAN のリング番号。このフィールドはトークン リング LANE の場合にのみ表示されます。
ATM Address	この LANE クライアントの ATM アドレス。

フィールド	説明
VCD	この LANE クライアントを対象に確立された各 VCC の仮想チャネル記述子。
rxFrames	受信したフレームの数。
txFrames	送信されたフレーム数。
Туре	ELAN のタイプ。この出力表示には、Configuration Direct VCC が <i>configure</i> として示されます。Control Direct VCC は <i>direct</i> として示され、Control Distribute VCC は <i>distribute</i> として示されます。Multicast Send VCC と Multicast Forward VC は、それぞれ <i>send、forward</i> として示されます。Data Direct VCC は <i>data</i> として示されます。
ATM Address	この VCC のもう一方の端の LANE コンポーネントの ATM アドレス。

## 関連コマンド

Command	Description
laneclient	指定したサブインターフェイスのLANEクライアントをアクティブにします。
lanefssrp	特殊なLANE機能を有効化して、LANEコンポーネント(LANEコンフィギュレーションサーバ、LANEクライアント、LANEサーバ、BUSなど)がFSSRPを認識するようにします。
laneserver	指定したサブインターフェイスの LANE サーバをアクティブにします。
showlaneconfig	インターフェイス上に構成されているコンフィギュレーションサーバのグローバル LANE 情報を表示します。

## show lane config

インターフェイス上に設定されているコンフィギュレーション サーバのグローバル LAN エミュレーション(LANE)情報を表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで showlaneconfig コマンドを使用します。

Cisco 7500 シリーズルータの AIP、Cisco 7200 シリーズの ATM ポート アダプタ show lane config [interface atm slot /0]

Cisco 7500 シリーズルータの ATM ポート アダプタ show lane config [interface atm slot/port-adapter/0]

Cisco 4500 および 4700 ルータ show lane config [interface atm number]

## 構文の説明

interfaceatm slot/0	(任意) 次の ATM インターフェイスのスロットおよびポート。
	• Cisco 7500 シリーズ ルータ上の AIP。
	• Cisco 7200 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタ。
interfaceatm slot/port-adapter /0	(任意) Cisco 7500 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタの ATM インターフェイス スロット、ポート アダプタ、およびポート番号。
interfaceatm number	(任意) Cisco 4500 または 4700 ルータの NPM の ATM インターフェイス番号。

## コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

例

以下に、イーサネット ELAN に対する showlaneconfig コマンドの出力例を示します。

Router# show lane config

LE Config Server ATM2/0 config table: cisco\_eng

```
Admin: up State: operational
LECS Mastership State: active master
list of global LECS addresses (30 seconds to update):
39.020304050607080910111213.00000CA05B43.00
ATM Address of this LECS: 39.020304050607080910111213.00000CA05B43.00 (auto)
vcd rxCnt txCnt callingParty
50 2 2 39.020304050607080910111213.00000CA05B41.02 LES elan2 0 active
cumulative total number of unrecognized packets received so far: 0
cumulative total number of config requests received so far: 30
cumulative total number of config failures so far: 12
cause of last failure: no configuration
culprit for the last failure: 39.020304050607080910111213.00602F557940.01
```

## 以下に、TR-LANE に対する showlaneconfig コマンドの出力例を示します。

```
Router# show lane config
```

```
LE Config Server ATM4/0 config table: eng
Admin: up State: operational

LECS Mastership State: active master
list of global LECS addresses (40 seconds to update):
39.020304050607080910111213.006047704183.00

ATM Address of this LECS: 39.020304050607080910111213.006047704183.00 (auto)
vcd rxCnt txCnt callingParty
7 1 1 39.020304050607080910111213.006047704181.01 LES elan1 0 active
cumulative total number of unrecognized packets received so far: 0
cumulative total number of config requests received so far: 2
cumulative total number of config failures so far: 0
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

#### 表 3: show lane config のフィールドの説明

フィールド	説明
LE Config Server	LANエミュレーションコンフィギュレーション サーバ (LECS) が設定されている主要なインターフェイス。
config table	LECS に関連付けられているデータベースの名前。
Admin	管理状態: up または down。
State	コンフィギュレーションサーバの状態: down または operational。 down の場合、ダウンしている理由が理由フィールドに示されます。理由としては、NO-config-table、NO-nsap-address、NO-interface-up などがあります。
LECS Mastership State	コンフィギュレーション サーバのマスターシップ状態。単純なサーバ冗長性が構成されている場合、最小のインデックス値を持つコンフィギュレーション サーバがアクティブ LECS です。

フィールド	説明
list of global LECS addresses	LECS アドレスのリスト。
40 seconds to update	次の更新までの時間。
39.020304050607080910111213.00000CA05B43.00	コンフィギュレーション サーバの ATM アドレス。
ATM Address of this LECS	アクティブ コンフィギュレーション サーバ の ATM アドレス。
auto	コンフィギュレーション サーバの ATM アドレス割り当て方式。この例では、自動方式でアドレスが割り当てられます。
ved	Configuration VCC を一意に識別する仮想回線 記述子。
rxCnt	受信したパケット数。
txCnt	送信したパケット数。
callingParty	LECS に接続されている LANE コンポーネントの ATM NSAP アドレス。「elan1」は ELAN名、「0」は優先順位の番号を示し、「active」はサーバがアクティブであることを示します。

## show lane database

コンフィギュレーション サーバのデータベースを表示するには、ユーザ EXEC モードまたは 特権 EXEC モードで showlanedatabase コマンドを使用します。

show lane database [database-name]

### 構文の説明

database-name (任意) 特定のデータベース名を指	定します。
---------------------------------	-------

## コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

#### コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

使用上のガイドライン デフォルトでは、このコマンドによって、showlaneconfig コマンドで表示される LAN エミュ レーション コンフィギュレーション サーバ情報が表示されます。

データベース名を指定しない場合、このコマンドはすべてのデータベースを表示します。

## 例

以下に、イーサネット LANE に対する showlanedatabase コマンドの出力例を示しま

#### Router# show lane database

```
LANE Config Server database table 'engandmkt' bound to interface/s: ATM1/0
default elan: none
elan 'eng': restricted
  server 45.000001415555121f.yyyy.zzzz.0800.200c.1001.01 (prio 0) active
  LEC MAC 0800.200c.1100
  LEC NSAP 45.000001415555121f.yyyy.zzzz.0800.200c.1000.01
  LEC NSAP 45.000001415555124f.yyyy.zzzz.0800.200c.1300.01
elan 'mkt':
  server 45.000001415555121f.yyyy.zzzz.0800.200c.1001.02 (prio 0) active
 LEC MAC 0800.200c.1200
 LEC NSAP 45.000001415555121f.yyyy.zzzz.0800.200c.1000.02
  LEC NSAP 45.000001415555124f.yyyy.zzzz.0800.200c.1300.02
```

以下に、トークンリング LANE に対する showlanedatabase コマンドの出力例を示しま す。

### Router# show lane database

LANE Config Server database table 'eng' bound to interface/s: ATM4/0 default elan: elan1

elan 'elan1': un-restricted, local-segment-id 2048 server 39.020304050607080910111213.006047704181.01 (prio 0) active

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

## 表 4: show lane database のフィールドの説明

フィールド	説明
LANE Config Server database	このデータベースの名前と、データベースにバインドされている インターフェイスの名前。
default elan	ELAN が確立される場合、そのデフォルトの名前。
elan	ELAN の名前。この ELAN のデータが、この回線と以降の対象回線で報告されます。
un-restricted	このELANが制限されているか無制限であるかどうかを示します。
local-segment-id 2048	ELAN のリング番号。
サーバ	コンフィギュレーション サーバの ATM アドレス。
(prio 0) active	このコンフィギュレーション サーバの優先度レベルと単純なサーバ冗長性状態。単純なサーバ冗長性が構成されている場合、最小のプライオリティ値を持つコンフィギュレーション サーバがアクティブです。
LEC MAC	この ELAN 内の個々の LANE クライアントの MAC アドレス。この ELAN 内の LANE クライアントごとに 1 行で表示されます。
LEC NSAP	この ELAN 内のすべての LANE クライアントの ATM アドレス。

## show lane default-atm-addresses

ルータ内または指定したインターフェイスあるいはサブインターフェイス上の各 LANE コンポーネントに自動的に割り当てられた ATM アドレスを表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで showlanedefault-atm-addresses コマンドを使用します。

Cisco 7500 シリーズルータの AIP、Cisco 7200 シリーズの ATM ポート アダプタ show lane default-atm-addresses [interface atm slot/port . subinterface-number]

Cisco 7500 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタ

show lane default-atm-addresses [interface atm slot/port-adapter/port . subinterface-number]

Cisco 4500 および 4700 ルータ

show lane default-atm-addresses [interface atm number . subinterface-number]

### 構文の説明

interfaceatm slot/port	(任意) 次のATMインターフェイスのスロットおよびポート。
	• Cisco 7500 シリーズ ルータ上の AIP。
	• Cisco 7200 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタ。
interfaceatm slot/port-adapter/port	(任意) Cisco 7500 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタの ATM インターフェイス スロット、ポート アダプタ、および ポート番号。
interfaceatm number	(任意) Cisco 4500 または 4700 ルータの NPM の ATM インターフェイス番号。
. subinterface-number	(任意) サブインターフェイス番号。

## コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

#### コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.0	このコマンドが導入されました。
11.1	number.subinterface-number 引数が追加されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

使用上のガイドライン このコマンドを使用する前に、対象のルータ上でいずれかのLANEコンポーネントが稼働中で ある必要はありません。

例

以下に、ATM インターフェイス 1/0 上にすべての主要な LANE コンポーネントが位置 している場合のこのインターフェイスに対する show lane default-atm-addresses コマン ドの出力例を示します。

#### Router# show lane default-atm-addresses interface atm1/0

interface ATM1/0:

LANE Client: LANE Server: LANE Bus: note: \*\* is the subinterface number byte in hex

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

#### 表 5: show lane default-atm-addresses のフィールドの説明

フィールド	説明
interface ATM1/0:	指定したインターフェイス。
LANE Client:	インターフェイスの LANE クライアントの ATM アドレス。
LANE Server:	インターフェイスの LANE サーバの ATM アドレス。
LANE Bus:	インターフェイス上の LANE Broadcast and Unknown Server の ATM アドレス。
LANE Config Server :	インターフェイス上の LAN エミュレーション コンフィギュレーション サーバの ATM アドレス。

# show lane le-arp

インターフェイスまたはそのいずれかのサブインターフェイス、指定したサブインターフェイス、あるいはエミュレート LAN(ELAN)上に設定されている LANE クライアントの LANE ARP テーブルを表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **showlanele-arp** コマンドを使用します。

Cisco 7500 シリーズ ルータの AIP、Cisco 7200 シリーズの ATM ポート アダプタ show lane le-arp [{interface atm slot/port [. subinterface-number]|name elan-name}]

Cisco 7500 シリーズルータの ATM ポート アダプタ show lane le-arp [{interface atm slot/port-adapter/port [. subinterface-number]|name elan-name}]

Cisco 4500 および 4700 ルータ show lane le-arp [{interface atm number [. subinterface-number]|name elan-name}]

## 構文の説明

interfaceatm slot/port	(任意) 次のATMインターフェイスのスロットおよびポート。
	• Cisco 7500 シリーズ ルータ上の AIP。
	• Cisco 7200 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタ。
interfaceatm slot/port-adapter/port	(任意) Cisco 7500 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタの ATM インターフェイス スロット、ポート アダプタ、および ポート番号。
interfaceatm number	(任意) Cisco 4500 または4700 ルータの NPM の ATM インターフェイス番号。
. subinterface-number	(任意) サブインターフェイス番号。
name elan-name	(任意) ELAN の名前。名前の最大長は 32 文字です。

## コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

#### コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

例

以下に、イーサネット LANE クライアントに対する showlanele-arp コマンドの出力例 を示します。

#### Router# show lane le-arp

以下に、トークン リング LANE クライアントに対する showlanele-arp コマンドの出力 例を示します。

#### Router# show lane le-arp

Ring Bridge ATM Address VCD Interface 512 6 39.020304050607080910111213.00602F557940.01 47 ATM2/0.1

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

## 表 6: show lane le-arp のフィールドの説明

フィールド	説明
Hardware Addr	この VCD の反対側にある LANE コンポーネントに割り当てられている MAC アドレス (ドット付き 16 進表記)。
Ring	LANE コンポーネントのルート記述子セグメント番号。
Bridge	LANE コンポーネントのブリッジ番号。
ATM Address	この VCD の反対側にある LANE コンポーネントの ATM アドレス。
VCD	仮想回線記述子。
Interface	指定されたコンポーネントに到達するために使用されるインターフェイスまた はサブインターフェイス。

# show lane neighbor

デバイスに直接接続されているすべてのLANエミュレーション(LANE)クライアントに関する情報を表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **showlaneneighbor** コマンドを使用します。

### show lane neighbor

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

#### コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(25)S	このコマンドが導入されました。
12.2(28)SB	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(28)SB に統合されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、LANE をサポートするイメージを使用している任意のデバイスで入力します。

このコマンドを使用して、デバイスに直接接続されている LANE クライアントの IP アドレス と、それらの LANE クライアントとデバイスを接続する仮想チャネル記述子(VCD)の番号を表示します。

- デバイスが LANE Quality of Service (QoS) をサポートする Cisco IOS イメージを使用している場合、このコマンドにより、LANE クライアントの IP アドレス、VCD の未指定ビットレート (UBR) サービス カテゴリ、VDC の UBR+ サービス カテゴリ、および接続のIP サービス クラス (CoS) が表示されます。
- デバイス上の Cisco IOS イメージが LANE QoS をサポートしていない場合は、このコマンドを実行すると、UBR+ VCD および IP CoS の値として 0 が表示されます。

## 例

以下に、LANE CoS をサポートしていない Cisco IOS リリース 12.2S または 12.2SB イメージを使用しているデバイスに対する showlaneneighbor コマンドの出力例を示します。

## Router# show lane neighbor

Lane Neighbor Group List

	<u>-</u>		
IP Address	UBRVCD	UBRPLUS VCD	IP cos
10.11.0.11	143	0	0
10.13.0.11	148	0	0

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

## 表 7: show lane neighbor のフィールドの説明

フィールド	説明
IP Address	直接接続されている LANE クライアントの IP アドレスを識別します。
UBRVCD	未指定ビットレート(UBR) QoSが適用される接続のVCD番号を識別します。
UBRPLUS VCD	最小セルレート (MCR) が設定された未指定ビットレート (UBR) QoSが 適用される接続の VCD 番号を識別します。
IP cos	IP CoS 値を識別します。

## 関連コマンド

コマンド	説明
	インターフェイスまたはそのいずれかのサブインターフェイス、指定されたサ
	ブインターフェイス、あるいはエミュレート LAN 上に設定されているすべて
	の LANE クライアントの詳細 LANE 情報を表示します。

## show lane server

インターフェイスまたはそのいずれかのサブインターフェイス、指定したサブインターフェイス、あるいはエミュレートLAN(ELAN)上に設定されているLANEサーバのグローバル情報を表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **showlaneserver** コマンドを使用します。

Cisco 7500 シリーズルータの AIP、Cisco 7200 シリーズの ATM ポート アダプタ show lane server [{interface atm slot/port [. subinterface-number]|name elan-name}] [brief]

Cisco 7500 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタ

**show lane server** [{interface atm slot/port-adapter/port [. subinterface-number]|name elan-name}] [brief]

Cisco 4500 および 4700 ルータ

show lane server [{interface atm number [. subinterface-number]|name elan-name}] [brief]

## 構文の説明

interfaceatm slot/port	(任意) 次のATMインターフェイスのスロットおよびポート。
	• Cisco 7500 シリーズルータ上の AIP。
	• Cisco 7200 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタ。
interfaceatm slot / port-adapter / port	(任意)Cisco 7500 シリーズ ルータの ATM ポート アダプタのATMインターフェイス スロット、ポートアダプタ、およびポート番号。
interfaceatm number	(任意) Cisco 4500 または 4700 ルータの NPM の ATM インターフェイス番号。
. subinterface-number	(任意) サブインターフェイス番号。
name elan-name	(任意) ELAN の名前。名前の最大長は32文字です。
brief	(任意) 利用可能な情報の簡易サブセットを表示するために使用されるキーワード。

## コマンドモード

## 特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。

例

リリース	変更箇所
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

以下に、イーサネット ELAN に対する showlaneserver コマンドの出力例を示します。

```
Router# show lane server
```

以下に、トークン リング ELAN に対する showlaneserver コマンドの出力例を示します。

#### Router# show lane server

```
LE Server ATM3/0.1 ELAN name: anubis Admin: up State: operational
                     Max Frame Size: 4544
type: token ring
                                            Segment ID: 2500
ATM address: 47.009181000000000000000000.00000CA01661.01
control distribute: vcd 10, 2 members, 4 packets
proxy/ (ST: Init, Conn, Waiting, Adding, Joined, Operational, Reject, Term)
lecid ST vcd pkts Hardware Addr ATM Address
  1 0
                3 400.1
                              47.00918100000000000000000.00000CA01660.01
                  0000.0ca0.1660 47.00918100000000000000000.00000CA01660.01
  2 0 16
                             47.00918100000000000000000.00000CA04960.01
                3 300.1
                  0000.0ca0.4960 47.00918100000000000000000.00000CA04960.01
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

### 表 8: show lane server のフィールドの説明

フィールド	説明
LE Server ATM2/0.2	このサーバのインターフェイスおよびサブインターフェイス。
ELAN name	ELAN の名前。
Admin	管理状態: up または down。
State	この LANE サーバのステータス。LANE サーバの状態として、down、waiting_ILMI、waiting_listen、up_not_registered、operational、terminatingのいずれかが表示されます。
type	ELAN の種類。

フィールド	説明
Max Frame Size	このタイプのエミュレート LAN の最大フレーム サイズ(バイト単位)。
Segment id	ELAN のリング番号。このフィールドはトークン リング LANE の場合に のみ表示されます。
ATM address	この LANE サーバの ATM アドレス。
LECS used	使用されているLANEコンフィギュレーションサーバのATMアドレス。 この行には、LANEサーバとLANエミュレーションコンフィギュレー ションサーバ(LECS)間の現在の接続状態と、この2つのサーバを接続 する回線の仮想回線記述子(VCD)も示されます。
control distribute	Control Distribute VCC O VCD <sub>o</sub>
プロキシ	Control Distribute VCC のもう一方の端の LANE クライアントの状態。
lecid	Control Distribute VCC のもう一方の端の LANE クライアントの識別子。
ST	Control Distribute VCC のもう一方の端のLANE クライアントの状態。状態として、Init、Conn、Waiting、ANDAdding、oined、Operational、Reject、Term のいずれかが表示されます。
vcd	LANE クライアントに到達するために使用される仮想チャネル記述子。
pkts	Control Distribute VCC 上の LANE サーバが LANE クライアントに送信したパケットの数。
Hardware Addr	この列の先頭の数字はルータ記述子、2番目の数字はLANEクライアントの MAC レイヤ アドレスです。
ATM Address	LANE クライアントの ATM アドレス。

# show mpoa client



(注)

Cisco IOS リリース 15.1M から、Cisco IOS ソフトウェアでは、showmpoaclient コマンドを使用 できなくなりました。

1 つまたはすべての Multiprotocol over ATM (MPOA) クライアント (MPC) に関する要約情報 を表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで showmpoaclient コマンドを 使用します。

show mpoa client [name mpc-name] [brief]

## 構文の説明

name mpc-name	(任意) 指定された名前を持つMPCの名前。
brief	(任意) コマンドの出力制限。

### コマンド モード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.3(3a)WA4(5)	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。
15.1M	このコマンドは削除されました。

使用上のガイドライン このコマンドで name キーワードを省略すると、すべての MPC 情報が表示されます。

例

次に、showmpoaclient コマンドの出力例を示します。

Router# show mpoa client name ip\_mpc brief

MPC Name: ip mpc, Interface: ATM1/0, State: Up

MPC actual operating address: 47.00918100000000613E5A2F01.0010A6943825.00

Shortcut-Setup Count: 1, Shortcut-Setup Time: 1

Lane clients bound to MPC ip\_mpc: ATM1/0.1

kp-alv vcd rxPkts Discovered MPS neighbors txPkts 47.00918100000000613E5A2F01.006070174824.00

Remote Devices known vcd rxPkts 47.0091810000000613E5A2F01.00000C5A0C5D.00 35 0 10

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

### 表 9: show mpoa client のフィールドの説明

フィールド	説明
MPC Name	特定の MPC として指定された名前。
Interface	MPC が接続されているインターフェイス。
State	MPC の現在の状態。
MPC actual operating address	MPC の ATM アドレス。
Shortcut-Setup Count	<b>shortcut-frame-count</b> コマンドで shortcut-setup フレーム数として現在指定されている値。
Shortcut-Setup Time	<b>shortcut-frame-time</b> コマンドで shortcut-setup フレーム時間として現在指定されている値。
Lane clients bound to MPC ip_mpc	現在 MPC ip_mpc にバインドされている LANE クライアントのリスト。
Discovered MPS neighbours	学習された MPS アドレスのリスト。
kp-alv	次のキープアライブ メッセージを受信するまでの秒数。
vcd	仮想回線を識別する番号。
rxPkts	学習した MPS から受信したパケットの数。
txPkts	学習した MPS に送信したパケットの数。
Remote Devices known	この ELAN に含まれていない他のデバイス (通常は、他のMPC) のリスト。
vcd	MPC への仮想回線を識別する番号。
rxPkts	学習したリモートデバイスから受信したパケットの数。
txPkts	学習したリモートデバイスに送信したパケットの数。

## 関連コマンド

Command	Description	
clearmpoaclientname	入力および出力キャッシュエントリをクリアします。	

# show mpoa client cache



(注)

Cisco IOS リリース 15.1M から、Cisco IOS ソフトウェアでは、**showmpoaclientcache** コマンドを使用できなくなりました。

Multiprotocol over ATM(MPOA) クライアント(MPC)の IP アドレスと一致する入力または 出力キャッシュ エントリを表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **showmpoaclientcache** コマンドを使用します。

show mpoa client [name mpc-name] cache [{ingress|egress}] [ip-address ip-address]

### 構文の説明

name mpc-name	(任意) 指定された名前を持つ MPC の名前。	
ingress	(任意) MPC に関連付けられている入力キャッシュエントリを表示す。	
egress	(任意) す。	MPCに関連付けられている出力キャッシュエントリを表示しま
ip-address ip-address	(任意)す。	指定されたアドレスに一致するキャッシュ エントリを表示しま

## コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所	
11.3(3a)WA4(5)	このコマンドが導入されました。	
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。	
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。	
15.1M	このコマンドは削除されました。	

例

以下に、特定の MPC に対する showmpoaclientcache コマンドの出力例を示します。

Router# show mpoa client ip\_mpc cache

MPC Name: ip-mpc, Interface: ATM1/0, State: Up

MPC actual operating address: 47.00918100000000613E5A2F01.0010A6943825.00

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

## 表 10: show mpoa client cache のフィールドの説明

フィールド	説明		
MPC Name	特定の MPC として指定された名前。		
Interface	MPC が接続されているインターフェイス。		
State	MPC の現在の状態(アップまたはダウン)。		
MPC actual operating address	MPC の ATM アドレス。		
Shortcut-Setup Count	<b>shortcut-frame-count</b> コマンドで shortcut-setup フレーム数として現在指定されている値。		
Number of Ingress cache entries	入力キャッシュ内のエントリ数。		
MPC Ingress Cache Information			
Dst IP addr	宛先の IP アドレス。		
State	入力キャッシュ エントリの状態。(状態として、initialized、trigger、refresh、hold-down、resolved、suspended のいずれかが表示されます)。		
ved	仮想回線を識別する番号。		
Expires	入力キャッシュエントリの有効期限が切れるまでの時間 (分または秒単位)。		
Egress MPC Atm address	出力 MPC の ATM アドレス。		
Number of Egress cache entries	出力キャッシュ内のエントリ数。		
MPC Egress Cache Information			
Dst IP addr	宛先の IP アドレス。		
Dst MAC	宛先の MAC アドレス。		
Src MAC	送信元の MAC アドレス。		

フィールド	説明	
MPSid	出力 MPS を表す一意の番号。	
Elan	この宛先 IP アドレスに対応する ELAN の ELAN 識別子。	
Expires	出力キャッシュエントリの有効期限が切れるまでの時間(分または秒単位)。	
CacheID	キャッシュ識別子。	
Tag	ラベル(タグ)識別子。	

# show mpoa client statistics



(注)

Cisco IOS リリース 15.1M から、Cisco IOS ソフトウェアで show mpoa client statistics コマンド を使用できなくなりました。

Multiprotocol over ATM (MPOA) クライアント (MPC) によって収集されたすべての統計を表 示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで show mpoa client statistics コマン ドを使用します。

show mpoa client [name mpc-name] statistics

### 構文の説明

name	(任意) MPCの名前を指定します。
трс-пате	

### コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更箇所	
11.3(3a)WA4(5)	このコマンドが導入されました。	
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。	
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。	
15.1M	このコマンドは削除されました。	

<u>使用上のガイドライン</u> このコマンドは、MPC によって収集されたすべての統計を表示します。

例

以下に、ip mpc という名前の MPC に対する showmpoaclient statistics コマンドの出力 例を示します。

## Router# show mpoa client name ip\_mpc statistics

MPC Name: ip\_mpc, Interface: ATM1/0, State: Up

MPC actual operating address: 47.00918100000000613E5A2F01.0010A6943825.00

Shortcut-Setup Count: 1, Shortcut-Setup Time: 1

			Tra	ınsmitted	Received
MPOA	Resolu	ition Reques	sts	2	0
MPOA	Resolu	tion Replie	es	0	2
MPOA	Cache	Imposition	Requests	0	0
MPOA	Cache	Imposition	Replies	0	0

MPOA Cache Purge Requests	0	0
MPOA Cache Purge Replies	0	0
MPOA Trigger Request	0	0
NHRP Purge Requests	0	0
Invalid MPOA Data Packets Received:	0	

## show mpoa default-atm-addresses



(注)

Cisco IOS リリース 15.1M から、Cisco IOS ソフトウェアでは、**showmpoadefault-atm-addresses** コマンドを使用できなくなりました。

Multiprotocol over ATM(MPOA)クライアント(MPC)のデフォルト ATM アドレスを表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **showmpoadefault-atm-addresses** コマンドを使用します。

### show mpoa default-atm-addresses

#### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

#### コマンド履歴

リリース	変更箇所	
11.3(3a)WA4(5)	このコマンドが導入されました。	
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。	
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。	
15.1M	このコマンドは削除されました。	

## 例

以下に、スイッチプレフィックスが使用可能でない場合の **showmpoadefault-atm-addresses** コマンドの出力例を示します。

#### Router# show mpoa default-atm-addresses

interface ATM1/0:

MPOA Server: ...006070174824.\*\*
MPOA Client: ...006070174825.\*\*

note: \*\* is the MPS/MPC instance number in hex

interface ATM2/0:

MPOA Server: ...006070174844.\*\*
MPOA Client: ...006070174845.\*\*

note: \*\* is the MPS/MPC instance number in hex

以下に、スイッチプレフィックスが使用可能な場合の showmpoadefault-atm-addresses コマンドの出力例を示します。

### Router# show mpoa default-atm-addresses

interface ATM1/0:

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

#### 表 11: show mpoa default-atm-addresses のフィールドの説明

フィールド	説明
interface ATM1/0	指定したインターフェイス。
MPOA Server	インターフェイス上の MPOA サーバの ATM アドレス。
MPOA Client	インターフェイス上のMPOAクライアントのATMアドレス。

# show mpoa server



(注)

Cisco IOS リリース 15.1M から、Cisco IOS ソフトウェアでは、showmpoaserver コマンドを使 用できなくなりました。

指定した Multiprotocol over ATM (MPOA) サーバ (MPS) またはシステム内のすべての MPS に関する情報を表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで showmpoaserver コマンドを使用します。

### show mpoa server [name mps-name]

#### 構文の説明

name	(任意) MPSの名前を指定します。
mps-name	

### コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.3(3a)WA4(5)	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。
15.1M	このコマンドは削除されました。

使用上のガイドライン このコマンドによって、サーバ設定パラメータに関する情報が表示されます。また、MPOA サーバのネイバー (MPC と MPS の両方) にバインドされている LAN エミュレーション クラ イアント (LEC) に関する情報も表示されます。

例

以下に、名前を指定した showmpoaserver コマンドの出力例を示します。

### Router# show mpoa server name ip\_mps

MPS Name: ip\_mps, MPS id: 0, Interface: ATM1/0, State: up network-id: 1, Keepalive: 25 secs, Holding time: 1200 secs Keepalive lifetime: 75 secs, Giveup time: 40 secs MPS actual operating address: 47.00918100000000613E5A2F01.006070174824.00 Lane clients bound to MPS ip mps: ATM1/0.1 ATM1/0.2 Discovered neighbours:

MPC 47.00918100000000613E5A2F01.00000C5A0C5D.00 vcds: 39(R,A) MPC 47.00918100000000613E5A2F01.0010A6943825.00 vcds: 40(R,A)

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

### 表 12: show mpoa server のフィールドの説明

フィールド	説明
MPS Name	MPOA サーバの名前。
MPS id	MPOA サーバの ID。
Interface	MPS が接続されているインターフェイス。
State	MPOA サーバの状態: up または down。
network-id	パーティション分割に使用されるネットワーク ID。
Keepalive	キープアライブタイム値。
Holding time	保持時間の値。
Keepalive lifetime	キープアライブライフタイムの値。
Giveup time	保留中の解像度要求を断念する前に待機する最小時間。
MPS actual operating address	この MPS の実際のコントロール アドレス。
Lane clients bound to MPS ip_mps	MPS が対応する LANE クライアントのリスト。
Discovered neighbours	このMPSにバインドされているクライアントによって検出された MPOA デバイス。

## 関連コマンド

-	Command	Description
	clearmpoaservername	1 つまたはすべての MPC の入力および出力キャッシュ エントリをクリ
		アします。

# show mpoa server cache



(注)

Cisco IOS リリース 15.1M から、Cisco IOS ソフトウェアでは、showmpoaservercache コマンド を使用できなくなりました。

Multiprotocol over ATM (MPOA) サーバ (MPS) に関連付けられている入力および出力キャッ シュ エントリを表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで show mpoa server cache コマンドを使用します。

show mpoa server [name mps-name] cache [{ingress|egress}] [ip-address ip-address]

### 構文の説明

name mps-name	(任意) MPS の名前を指定します。
ingress	(任意) サーバに関連付けられている入力キャッシュ エントリを表示します。
egress	(任意) サーバに関連付けられている出力キャッシュ エントリを表示します。
ip-address ip-address	(任意) 指定された IP アドレスに一致するエントリを表示します。

## コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。
15.1M	このコマンドは削除されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、MPS に関連付けられている入力および出力キャッシュ エントリを表示しま す。

例

以下に、名前を指定した showmpoaservercache コマンドの出力例を示します。

```
Router# show mpoa server name ip_mps cache
MPS Name: ip_mps, MPS id: 0, Interface: ATM1/0, State: up
network-id: 1, Keepalive: 25 secs, Holding time: 1200 secs
Keepalive lifetime: 75 secs, Giveup time: 40 secs
MPS actual operating address: 47.00918100000000613E5A2F01.006070174824.00
Number of Ingress cache entries: 1
Ingress Cache information:
                Ingress MPC ATM Address
 IP address
                                                               Remaining Time
  20.20.20.1
                 47.00918100000000613E5A2F01.0010A6943825.00
                                                               19:07
Number of Egress cache entries: 1
Egress Cache information:
  Dst IP address Ingress MPC ATM Address
                                                               Remaining Time
  20.20.20.1 47.00918100000000613E5A2F01.0010A6943825.00
                                                               19:06
    src IP 20.20.20.2, cache Id 1
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

#### 表 13: show mpoa server cache のフィールドの説明

フィールド	説明
MPS Name	MPOA サーバの名前。
MPS id	MPOA サーバの ID。
Interface	MPS が接続されているインターフェイス。
State	MPOA サーバの状態: up または down。
network-id	パーティション分割に使用されるネットワーク ID。
Keepalive	キープアライブ タイム値。
Holding time	保持時間の値。
Keepalive lifetime	キープアライブライフタイムの値。
Giveup time	保留中の解像度要求を断念する前に待機する最小時間。
MPS actual operating address	この MPS の実際のコントロール アドレス。
Number of Ingress cache entries	入力キャッシュ内のエントリ数。
Ingress Cache information	入力キャッシュの情報。
IP address	MPC の IP アドレス。
Ingress MPC ATM Address	入力 MPC の ATM アドレス。
Remaining Time	キャッシュ エントリが有効な時間。
Number of Egress cache entries	出力キャッシュ内のエントリ数。
Egress Cache information	出力キャッシュの情報。

フィールド	説明
Dst IP address	宛先の IP アドレス。
src IP	NHRP 解決要求を発信した送信元 MPS の IP アドレス。
cache Id	キャッシュ識別子。

# show mpoa server statistics



(注)

Cisco IOS リリース 15.1M から、Cisco IOS ソフトウェアでは、showmpoaserverstatistics コマン ドを使用できなくなりました。

Multiprotocol over ATM (MPOA) サーバ (MPS) によって収集されたすべての統計を表示する には、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで show mpoa server statistics コマンドを 使用します。

show mpoa server [name mps-name] statistics

### 構文の説明

name	(任意)	MPSの名前を指定します。
mps-name		

#### コマンドモード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

#### コマンド履歴

11.11. 7	亦再符記
リリース	変更箇所
12.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。
15.1M	このコマンドは削除されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、MPS によって収集されたすべての統計を表示します。表示される統計情報 は、入力または出力キャッシュ エントリの作成、削除、エラーに関連するものです。

例

以下に、名前を指定した showmpoaserverstatistics コマンドの出力例を示します。

Router# show mpoa server name ip\_mps statistics

MPS Name: ip mps, MPS id: 0, Interface: ATM1/0, State: up network-id: 1, Keepalive: 25 secs, Holding time: 1200 secs Keepalive lifetime: 75 secs, Giveup time: 40 secs MPS actual operating address: 47.00918100000000613E5A2F01.006070174824.00 Opcode Transmitted Received

MPOA Resolution Requests

2 MPOA Resolution Replies MPOA Cache Imposition Requests

MPOA	A Cache Imposition Replies		1
MPOA	Egress Cache Purge Requests		0
MPOA	Egress Cache Purge Replies	0	
NHRP	Resolution Requests	0	0
NHRP	RP Resolution Replies 0		0
NHRP	HRP Purge Requests 0		0

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

# 表 14: show mpoa server statistics のフィールドの説明

フィールド	説明
MPS Name	MPOA サーバの名前。
MPS id	MPOA サーバの ID。
Interface	指定したインターフェイス。
State	MPOA サーバの状態: up または down。
network-id	パーティション分割に使用されるネットワーク ID。
Keepalive	キープアライブタイム値。
Holding time	保持時間の値。
Keepalive lifetime	キープアライブライフタイムの値。
Giveup time	保留中の解像度要求を断念する前に待機する最小時間。
MPS actual operating address	この MPS の実際のコントロール アドレス。

# show network-clocks

現在設定されており、アクティブなネットワーククロックソースを表示するには、特権EXEC モードで shownetwork-clocks コマンドを使用します。

#### show network-clocks

#### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

#### コマンド モード

特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.1	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォームハードウェアによって異なります。
12.2(33)SRD1	7600-ES+ITU-2TG および 7600-ES+ITU-4TG の BITS クロック情報を表示するために、このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン Cisco MC3810 では、このコマンドは Voice over Frame Relay、Voice over ATM、および Voice over HDLC に適用されます。Cisco MC3810 はバックグラウンド タスクにより、有効なクロッ キング設定が存在するかどうかを120秒間隔で確認します。このタスクによってエラーが検出 された場合、エラーが修正されるまで、120秒ごとに通知を受けます。クロッキング設定のエ ラーは、さまざまな理由で発生します。shownetwork-clocks コマンドを使用することで、ク ロッキングの設定状態を表示できます。

Cisco 7600 シリーズ ルータでは、このコマンドは以下の要素に適用されます。

- SIP-200 および SIP-400 上の POS SPA からのクロック ソース。
- SIP-400 上の 24 ポート チャネライズド T1/E1 ATM CEoP SPA および 1 ポート チャネライ ズド OC-3 STM1 ATM CEoP SPA。
- 7600-ES+ITU-2TG および 7600-ES+ITU-4TG ライン カード。

# 例

以下に、shownetwork-clocks EXEC コマンドの出力例を示します。

#### Router# show network-clocks

Priority 1 clock source: ATM3/0/0 Priority 2 clock source: System clock Priority 3 clock source: System clock Priority 4 clock source: System clock Current clock source: ATM3/0/0, priority:1 以下に、Cisco MC3810 に対する shownetwork-clocks コマンドの出力例を示します。

#### Router# show network-clocks

```
Priority 1 clock source(inactive config): T1 0 Priority 1 clock source(active config): T1 0 Clock switch delay: 10 Clock restore delay: 10 T1 0 is clocking system bus for 9319 seconds. Run Priority Queue: controller0
```

この出力に表示されている非アクティブの設定は、新しく確立された設定です。アクティブな設定はランタイム設定です。新しい設定でエラーが発生した場合、非アクティブおよびアクティブ設定が異なってきます。上記の出力例では、クロック優先順位の設定が有効であり、出力に示されているようにシステムがクロックソースとなっています。

以下に、shownetwork-clocks コマンドの別の出力例を示します。

#### Router# show network-clocks

Router# show network-clocks
Active source = Slot 1 BITS 0

BITS Port Configuration

```
Priority 1 clock source(inactive config): T1 0
Priority 2 clock source(inactive config): T1 1
Priority 1 clock source(active config): T1 0
Clock switch delay: 10
Clock restore delay: 10
T1 0 is clocking system bus for 9319 seconds.
Run Priority Queue: controller0
```

この出力では、コントローラT11に対するクロッキング設定にエラーがあります。これは、最後に有効だった設定(アクティブ)と新しく提案されている設定(非アクティブ)との差異を確認することで明らかになります。このエラーの原因としては、ハードウェア(システム コントローラ ボードまたは MFT)がこのモードをサポートできないか、コントローラT11が現在「内部クロックソース」として設定されていることが考えられます。

アクティブ設定と非アクティブ設定が異なるため、システムは誤った設定に関する警告メッセージを定期的に表示します。

以下に、7600-ES+ITU-2TG または 7600-ES+ITU-4TG に対する shownetwork-clocks コマンドの出力例を示します。

```
Active source backplane reference line = Primary Backplane Clock
Standby source = Slot 9
Standby source backplane reference line = Secondary Backplane Clock
(Standby source not driving backplane clock currently)
All Network Clock Configuration
Priority Clock Source
                                   State
                                                                 Reason
1
          POS3/0/1
                                   Valid but not present
          Slot 1 BITS 0
                                    Valid
          Slot 9
Current operating mode is Revertive
Current OOR Switchover mode is Switchover
There are no slots disabled from participating in network clocking
```

Slot Port Signal Type/Mode Line Build-Out Select

10T1ESF DSX-1 (533 ~ 655 フィート)

# 関連コマンド

Command	Description
clocksource	インターフェイスのクロック ソース タイプを指定します。
network-clock	BITS ポートの信号タイプを設定します。
network-clockselect	ネットワーク クロックのソースを選択します。
network-clock-select(ATM)	ATM-CESポートアダプタに必須のクロッキング信号の送信元と優先順位を確立します。
showplatformhardwarenetwork-clocks	ES+ ライン カードのネットワーク クロックを表示します。

# show sscop

すべての ATM インターフェイスの Service-Specific Connection-Oriented Protocol (SSCOP) に関する詳細を表示するには、特権 EXEC モードで **showsscop** コマンドを使用します。

#### show sscop

#### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

#### コマンド モード

特権 EXEC

#### コマンド履歴

リリース	変更箇所
10.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

例

次に、showsscop コマンドの出力例を示します。

#### Router# show sscop

```
SSCOP details for interface ATM4/0
  Current State = Data Transfer Ready
  Send Sequence Number: Current = 2, Maximum = 9
  Send Sequence Number Acked = 3
  Rcv Sequence Number: Lower Edge = 2, Upper Edge = 2, Max = 9
  Poll Sequence Number = 1876, Poll Ack Sequence Number = 2
  Vt(Pd) = 0
  Connection Control: timer = 1000
  Timer currently Inactive
  Keep Alive Timer = 30000
  Current Retry Count = 0, Maximum Retry Count = 10
     Pdu's Sent = 0, Pdu's Received = 0, Pdu's Ignored = 0
     Begin = 0/1, Begin Ack = 1/0, Begin Reject = 0/0
     End = 0/0, End Ack = 0/0
     Resync = 0/0, Resync Ack = 0/0
     Sequenced Data = 2/0, Sequenced Poll Data = 0/0
     Poll = 1591/1876, Stat = 0/1591, Unsolicited Stat = 0/0
     Unassured Data = 0/0, Mgmt Data = 0/0, Unknown Pdu's = 0
```

次の表に、この出力で表示されるフィールドについて説明します。この出力を解釈するには、SSCOPを十分に理解している必要があります。この出力は通常、技術者がネットワークの問題を診断するために表示します。

# 表 15: show sscop のフィールドの説明

フィールド	説明
SSCOP details for interface	インターフェイスのスロットおよびポート。
Current State	インターフェイスの SSCOP 状態。
Send Sequence Number	現在および最大送信シーケンス番号。
Send Sequence Number Acked	確認応答済みパケットのシーケンス番号。
Rcv Sequence Number	受信したパケットのシーケンス番号。
Poll Sequence Number	現在のポーリング シーケンス番号。
Poll Ack Sequence Number	確認応答済みポーリング シーケンス番号。
Vt(Pd)	送信したシーケンシャル データ (SD) フレームの数。この数に よって、ポーリング フレームの送信がトリガーされます。
Connection Control	SSCOP を確立および終了するために使用されるタイマー。
Keep Alive Timer	アイドル リンクでキープアライブを送信するために使用される タイマー。
Current Retry Count	再試行カウンタの現在のカウント。
Maximum Retry Count	再試行カウンタの上限値。
Pdu's Sent	送信した SSCOP フレームの合計数。
Pdu's Received	受信した SSCOP フレームの合計数。
Pdu's Ignored	無視された無効な SSCOP フレームの数。
開始	送信/受信した開始フレームの数。
Begin Ack	送信/受信した開始確認応答フレームの数。
Begin Reject	送信/受信した開始拒否フレームの数。
終了 (End)	送信/受信した終了フレームの数。
End Ack	送信/受信した終了確認応答フレームの数。
[再同期(Resync)]	送信/受信した再同期フレームの数。
Resync Ack	送信/受信した再同期確認応答フレームの数。
Sequenced Data	送信/受信したシーケンシャル データ フレームの数。

フィールド	説明
Sequenced Poll Data	送信/受信したシーケンス ポーリング データ フレームの数。
ポーリング	送信/受信したポーリング フレームの数。
統計情報	送信/受信した統計フレームの数。
Unsolicited Stat	送信/受信した非要請統計フレームの数。
Unassured Data	送信/受信した不確定データ フレームの数。
Mgmt Data	送信/受信した管理データ フレームの数。
Unknown Pdu's	不明 Pdu で送信/受信したフレームの数。

# show svc

相手先選択接続(SVC)情報を表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで showsvc コマンドを使用します。

**show svc** [{ppp|interfacevpi/vci-valuevci-valueconnection-name}]

### 構文の説明

ррр	(任意)Point-to-Point Protocol(PPP)ATM SVC インターフェイス情報を指定します。
interface	(任意) SVC のインターフェイスを指定します。
vpi / vci-value	(任意) 仮想パス識別子または仮想チャネル識別子(VPI/VCI) の値。スラッシュ記号が必要です。
vci-value	(任意) 仮想回線インターフェイスの値。
connection-name	(任意) 接続名。

# コマンドモード

ユーザ EXEC (>) 特権 EXEC (#)

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.4(24)T	このコマンドは、Cisco IOS リリース 12.4(24)T よりも前のリリースで導入されました。

使用上のガイドライン SVC情報を表示するには、使用可能なキーワードと引数を指定して、このコマンドを使用しま

#### 例

以下に、showsvc コマンドの出力例を示します。

#### Router# show svc interface atm1/0

Peak Av/Min Burst Encaps Interface Name VPI VCI Type SC Kbps Kbps Cells St UBR 149760 125 SVC 1138 SNAP UP

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

#### 表 16: show svc のフィールドの説明

フィールド	説明
Interface	インターフェイスとサブインターフェイスのスロットとポート。

フィールド	説明	
VCD/Name	仮想接続記述子(仮想接続番号)。pvc コマンドを使用して VC の名前が設定されている場合は、接続名が表示されます。	
VPI	Virtual Path Identifier(仮想パス識別子)。	
VCI	仮想チャネル識別子。	
Туре	PVC ディスカバリで検出された PVC のタイプ。PVC-D、PVC-L、または PVC-M。	
	• PVC-D: PVC ディスカバリの結果として PVC が作成されました。	
	• PVC-L:この PVC の対応するピアはスイッチに見つかりませんでした。	
	• PVC-M: この PVC の Quality of Service (QoS) パラメータの一部またはすべてが、スイッチ上の対応するピアのパラメータと一致していません。	
Encaps	ATM アダプテーション層(AAL)とカプセル化のタイプ。	
Peak Kbps	ピーク レートでの送信時のキロビット/秒。	
Avg/Min Kbps	平均レートでの送信時のキロビット/秒。	
Burst Cells	VC がピーク レートで送信できる ATM セルの最大数。	
Sts	VC 接続の状態。	
	• UP: その接続はデータ トラフィックに対して有効化されています。	
	• DOWN: その接続はデータトラフィックに対して準備ができていません。 Statusフィールドが DOWN の場合、Stateフィールドが表示されます。以下 に記載されている、Stateフィールドのさまざまな値の説明を参照してくだ さい。	
	• INACTIVE : インターフェイスはダウンしています。	

フィールド	説明	
State	StatusフィールドがUPの場合、このフィールドは表示されません。Statusフルドが DOWN または INACTIVE の場合、State フィールドには次のいずれ値が表示されます。	
	• NOT_VERIFIED: VC は正常に確立されており、OAM (有効な場合) および ILMI (有効な場合) によりこの VC の稼働が確認されるのを待機しています。	
	•NOT_EXIST: VC は作成されていません。	
	• HASHING_IN: VC はハッシュ テーブルにハッシュされました。	
	• ESTABLISHING: VC 接続を確立する準備ができています。	
	• MODIFYING: VC パラメータが変更されました。	
	• DELETING: VC を削除しています。	
	• DELETED: VC が削除されました。	
	• NOT_IN_SERVICE: ATM インターフェイスはシャットダウンしています。	

# snmp-server enable traps atm pvc

ATM 相手先固定接続(PVC) 簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP) 通知の送信をイネー ブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードで snmp-server enable traps atm pvc コマンドを使用します。ATM PVC-specific SNMP 通知を無効化するには、このコマンドの no 形式を使用します。

snmp-server enable traps atm pvc [interval 秒] [fail-interval 秒] no snmp-server enable traps atm pvc [interval 秒] [fail-interval 秒]

#### 構文の説明

interval 秒	(任意)連続するトラップ間の最小間隔を指定します。PVC トラップの生成は、トラップストームを防止するために、通知間隔により抑制されます。この間隔が経過するまでトラップは送信されません。 $seconds$ 引数は $1 \sim 3600$ の範囲の整数です。デフォルトは $30$ です。
fail-interval 秒	(任意) 障害タイムスタンプを保存するための最小のピリオドを指定します。 $seconds$ 引数は $0 \sim 3600$ の範囲の整数です。デフォルトは $0$ です。

コマンド デフォルト

SNMP 通知はディセーブルです。

コマンドモード

グローバル設定

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.0(1)T	このコマンドが、ATMPVC管理をサポートするプラットフォーム向けに導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャセット、プラットフォーム、およびプラットフォームハードウェアによって異なります。
Cisco IOS XE リリース 2.3	このコマンドが Cisco IOS XE Release 2.3 に統合され、Cisco ASR 1000 シリーズ ルータに実装されました。

使用上のガイドライン SNMP通知は、トラップまたは情報要求として送信できます。このコマンドは、特定の通知タ イプのトラップと情報要求の両方をイネーブルにします。ATM 通知は Cisco FTP サイトの ftp://ftp.cisco.com/pub/mibs/v2/ にある CISCO-IETF-ATM2-PVCTRAP-MIB.my ファイルに定義さ れています。

ATM PVC 障害通知は ATM インターフェイスの PVC が障害を起こした場合、または UP 動作 状態でなくなった場合に送信されます。interval キーワードで指定されている間隔で、ハード ウェア インターフェイスごとに 1 つのトラップが生成されます(MIB で

atmIntfPvcNotificationInterval として保存されます)。同じインターフェイスで他のPVCがこの期間内にダウン状態になると、トラップが生成され、fail-interval で指定した時間が経過するまで保持されます。期間が終わってもPVCがまだダウンしている場合は、トラップが送信されます。

PVC がダウン状態からアップ状態に戻った場合は、通知は生成されません。PVC の回復を検出する必要がある場合は、SNMP管理アプリケーションを使用してルータを定期的にポーリングする必要があります。

snmp-server enable traps atm pvc コマンドは、snmp-server host コマンドと組み合わせて使用します。snmp-server host コマンドを使用して、SNMP 通知を受信するホスト(1 つ以上)を指定します。通知を送信するには、少なくとも 1 つの snmp-server host コマンドを設定する必要があります。

次の例は、PVC 0/1 が停止した場合、ホスト 172.16.61.90 が通知を受信するように、ルータの ATM PVC トラップのイネーブルにします。

!For ATM PVC Trap Support to work on your router, you must first have SNMP support and !an IP routing protocol configured on your router:

 ${\tt Router(config)\,\#\,\, snmp-server\,\, community\,\, public\,\, ro}$ 

Router(config) # snmp-server host 172.16.61.90 public

Router(config) # ip routing

Router(config) # router igrp 109

Router(config-router) # network 172.16.0.0

!

!Enable ATM PVC Trap Support and OAM management:

Router(config)# snmp-server enable traps atm pvc interval 40 fail-interval 10

Router(config)# interface atm 1/0.1

Router(config-if) # pvc 0/1

Router(config-if-atm-vc)# oam-pvc manage

#### 関連コマンド

Command	Description
showatmpvc	すべての ATM PVC およびトラフィック情報を表示します。
snmp-serverenabletraps	システムで使用可能なすべてのSNMP通知をイネーブルにします。
snmp-serverhost SNMP 通知動作の指定	
snmp-servertrap-source	SNMP トラップの送信元とするインターフェイスを指定します。

例

# snmp-server enable traps atm pvc extension

ATM 相手先固定接続(PVC)SNMP 通知と、ATM 運用管理および保守(OAM)F5 連続性 チェック(CC)、ATM OAM F5 アラーム表示信号/リモート故障表示(AIS/RDI)、およびループバック障害の SNMP 通知の送信をイネーブルにするには、グローバルコンフィギュレーションモードで snmp-server enable traps atm pvc extension コマンドを使用します。これらの SNMP 通知をディセーブルにするには、このコマンドの no 形式を使用します。

 $snmp-server\ enable\ traps\ atm\ pvc\ extension\ \{up|down|oam\ failure\ [\{aisrdi|endCC|loopback|segmentCC\}]\}$  no  $snmp-server\ enable\ traps\ atm\ pvc\ extension\ \{up|down|oam\ failure\ [\{aisrdi|endCC|loopback|segmentCC\}]\}$ 

### 構文の説明

up	ATM PVC UP トラップをイネーブルにします。これらの通知は、PVC がダウン状態からアップ状態に変化したときに生成されます。
down	ATM PVC 障害トラップをイネーブルにします。これらの通知は、PVC がアップ 状態からダウン状態に変化したときに生成されます。
oamfailure	ATM PVC OAM 障害トラップをイネーブルにします。これらの通知は、OAM 障害のいずれかのタイプが PVC で発生した場合に生成されます。
aisrdi	(任意) AIS/RDI OAM 障害トラップをイネーブルにします。これらの通知は、 AIS/RDI OAM 障害が PVC で発生した場合に生成されます。
endCC	(任意)エンドツーエンド OAM CC 障害トラップをイネーブルにします。これらの通知は、エンドツーエンド CC 障害が PVC で発生した場合に生成されます。
loopback	(任意) OAM 障害ループバック トラップをイネーブルにします。これらの通知は、OAM ループバック障害が PVC で発生した場合に生成されます。
segmentCC	(任意) セグメント OAM CC 障害トラップをイネーブルにします。これらの通知は、セグメント CC 障害が PVC で発生した場合に生成されます。

コマンドデフォルト

SNMP 通知はディセーブルです。連続するトラップの間隔は30秒です。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(4)T	このコマンドが、ATM PVC 管理をサポートするプラットフォーム 向けに導入されました。
12.2(13)T	このコマンドが、ATM OAM F5 CC および ATM OAM F5 AIS/RDI 障害の SNMP 通知のサポートを設定するように変更されました。

リリース	変更箇所
12.2(28)SB	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(28)SB に統合されました。
Cisco IOS XE リリース 2.3	このコマンドが Cisco IOS XE Release 2.3 に統合され、Cisco ASR 1000 シリーズ ルータに実装されました。
12.2(33)SRE	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE に統合されました。

#### 使用上のガイドライン

範囲に含まれていない PVC の場合、拡張 ATM PVC トラップには、仮想パス識別子/仮想チャネル識別子 (VPI/VCI) 情報、PVC が一定間隔内にたどる状態遷移の数、および遷移の開始と終了のタイムスタンプが含まれます。範囲に含まれている PVC の場合、拡張 ATM PVC トラップには、範囲の最初と最後の VPI/VCI および同じ範囲内における最初の障害と最後の障害のタイムスタンプが含まれます。

拡張 ATM PVC および ATM OAM F5 CC トラップは、レガシー ATM PVC トラップと同時に使用できません。拡張 ATM PVC トラップを設定する前に、no snmp-server enable traps atm pvc コマンドを使用してレガシー ATM PVC トラップをディセーブルにする必要があります。

snmp-server enable traps atm pvc extension down コマンドでイネーブルにする拡張 ATM PVC 障害トラップは、snmp-server enable traps atm pvc コマンドでイネーブルにするレガシー ATM PVC 障害トラップと同じです。

- 拡張 ATM PVC 障害トラップには、VPI/VCI 範囲の形式の情報が含まれます。
- 拡張 ATM PVC 障害トラップには、PVC がダウンしたときのタイムスタンプが含まれます。
- •レガシー ATM PVC 障害トラップには、トラップごとに 1 つの VPI/VCI だけが含まれます。



(注)

ATM OAM F5 AIS/RDI 障害トラップ、エンドツーエンド ATM OAM F5 CC 障害トラップ、OAM 障害ループバック トラップ、およびセグメント ATM OAM F5 CC 障害トラップをイネーブル にするには、snmp-server enable traps atm pvc extension mibversion 2 コマンドを設定する必要 があります。このコマンドでは、次のトラップをサポートする MIB をイネーブルにします。

ATM PVCトラップを使用する前に、PVC上でOAM 管理をイネーブルにする必要があります。 F5 ループバック障害トラップを生成するには、oam-pvc manage コマンドを使用して OAM 管理をイネーブルにします。セグメント F5 CC 障害トラップを生成するには、oam-pvc manage cc segment コマンドを使用してセグメント OAM CC 管理をイネーブルにします。エンドツーエンド F5 CC 障害トラップを生成するには、oam-pvc manage cc end コマンドを使用してエンドツーエンド OAM CC 管理をイネーブルにします。OAM F5 AIS/RDI 障害トラップを生成するには、前述の 3 タイプの OAM 管理のいずれかをイネーブルにします。

SNMP通知は、トラップまたは情報要求として送信できます。このコマンドは、特定の通知タイプのトラップと情報要求の両方をイネーブルにします。連続するトラップの間隔は30秒です。

MIB バージョン 1 の拡張 ATM PVC 通知は、CISCO-IETF-ATM2-PVCTRAP-MIB.my ファイル に定義されています。MIB バージョン 2 の拡張 ATM PVC 通知は、

CISCO-ATM-PVCTRAP-EXTN-MIB.my ファイルに定義されています。この2つの MIB ファイルは、Cisco FTP サイトの ftp://ftp.cisco.com/pub/mibs/v2/ から入手できます。

ATM PVC トラップは、通知間隔の最後に生成されます。同じ通知間隔の最後に、ATM PVC トラップの 3 タイプ(ATM PVC 障害トラップ、ATM PVC UP トラップ、および ATM PVC OAM 障害トラップ)のすべてを生成できます。ただし、各 PVC に対して生成されるトラップは、1 タイプだけです。

snmp-server enable traps atm pvc extension コマンドは、snmp-server host コマンドと組み合わせて使用します。snmp-server host コマンドを使用して、SNMP 通知を受信するホスト(1 つ以上)を指定します。通知を送信するには、少なくとも 1 つの snmp-server host コマンドを設定する必要があります。

ATM OAM F5 ループバック、AIS/RDI、または CC 障害トラップがイネーブルの場合、OAM ループバック、AIS/RDI、または CC 障害が検出されても PVC はアップ状態のままであるため、データ フローが引き続き可能です。これらのトラップのいずれかがイネーブルでない場合、OAM ループバック、AIS/RDI、または CC 障害が検出されると PVC はダウン状態になります。

#### 拡張 ATM PVC 通知

次の例は、ルータ上でイネーブルになっている 3 つのすべての拡張 ATM PVC トラップを示しています。PVC 0/1 がアップ状態でなくなるか、ダウン状態でなくなるか、または OAM ループバック障害が発生した場合、ホスト 172.16.61.90 が SNMP 通知を受信します。

```
! Configure SNMP support and an IP routing protocol on your router:
Router(config)  # snmp-server community public ro
Router(config)  # snmp-server host 172.16.61.90 public
Router(config)  # ip routing
Router(config)  # router igrp 109
Router(config-router)  # network 172.16.0.0
!
! Enable extended ATM PVC trap support and OAM management:
Router(config)  # snmp-server enable traps atm pvc extension down
Router(config)  # snmp-server enable traps atm pvc extension up
Router(config)  # snmp-server enable traps atm pvc extension oam failure loopback
Router(config)  # interface atm 1/0.1
Router(config-if)  # pvc 0/1
Router(config-if-atm-vc)  # oam-pvc manage
```

### 拡張 ATM PVC 障害トラップの出力

次の例は、PVC 1/100、1/102、および 1/103 に対する拡張 ATM PVC 障害トラップの出力を示しています。同じインターフェイスまたはサブインターフェイスに関連付けられたすべての PVC に対して、トラップが 1 つだけ生成されることに注意してください (各 PVC に対して個別のトラップが生成されるレガシー ATM PVC 障害トラップとは

例

対象的です)。VPI/VCI情報とタイミング情報は、トラップに関連付けられたオブジェクト内に配置されています。

```
00:23:56:SNMP:Queuing packet to 10.1.1.1
00:23:56:SNMP:V2 Trap, reqid 2, errstat 0, erridx 0
sysUpTime.0 = 143636
snmpTrapOID.0 = atmIntfPvcFailuresTrap
ifEntry.1.19 = 19
atmIntfPvcFailures.2 = 7
atmIntfCurrentlyFailingPVcls.2 = 3
atmPVclLowerRangeValue.19.1.2 = 102
atmPVclHigherRangeValue.19.1.2 = 103
atmPVclRangeStatusChangeStart.19.1.2 = 140643
atmPVclRangeStatusChangeEnd.19.1.2 = 140698
atmPVclStatusTransition.19.1.100 = 140636
atmPVclStatusChangeStart.19.1.100 = 140636
00:23:56:SNMP:Packet sent via UDP to 10.1.1.1
```

#### 拡張 ATM PVC UP トラップの出力

次の例は、PVC 1/100、1/102、および 1/103 に対する拡張 ATM PVC UP トラップの出力を示しています。

```
00:31:29:SNMP:Queuing packet to 10.1.1.1
00:31:29:SNMP:V2 Trap, reqid 2, errstat 0, erridx 0
sysUpTime.0 = 188990
snmpTrapOID.0 = atmIntfPvcUpTrap
ifEntry.1.19 = 19
atmIntfCurrentlyDownToUpPVcls.2 = 3
atmPVclLowerRangeValue.19.1.2 = 102
atmPVclHigherRangeValue.19.1.2 = 103
atmPVclRangeStatusChangeStart.19.1.2 = 186005
atmPVclRangeStatusChangeEnd.19.1.2 = 186053
atmPVclStatusTransition.19.1.100 = 1
atmPVclStatusChangeStart.19.1.100 = 185990
atmPVclStatusChangeEnd.19.1.100 = 185990
00:31:30:SNMP:Packet sent via UDP to 10.1.1.1
```

#### ATM OAM F5 CC 通知

次の例では、ATM OAM CC 通知および拡張 ATM PVC 通知がイネーブルになっています。接続障害が PVC 0/1 で検出されると、ホスト 172.16.61.90 が SNMP 通知を受信します。

```
! Configure SNMP support and an IP routing protocol on your router:
Router(config) # snmp-server community public ro
Router(config) # snmp-server host 172.16.61.90 public
Router(config) # ip routing
Router(config) # router igrp 109
Router(config-router) # network 172.16.0.0
!
! Enable extended ATM PVC trap support and OAM management:
Router(config) # snmp-server enable traps atm pvc extension mibversion 2
Router(config) # snmp-server enable traps atm pvc extension oam failure aisrdi
```

```
Router(config) # snmp-server enable traps atm pvc extension oam failure endcc
Router(config) # snmp-server enable traps atm pvc extension oam failure segmentcc
Router(config) # snmp-server enable traps atm pvc extension oam failure loopback
Router(config) # snmp-server enable traps atm pvc extension up
Router(config) # interface atm 0
Router(config-if) # pvc 0/1
Router(config-if-atm-vc) # oam-pvc manage cc end
```

# 関連コマンド

Command	Description
oam-pvcmanage	エンドツーエンド F5 OAM ループバック セルの生成および OAM 管理をイネーブル にします。
oam-pvcmanagecc	ATM OAM F5 CC 管理を設定します。
showatmpvc	すべての ATM PVC およびトラフィック情報を表示します。
snmp-serverenabletraps	システムで使用可能なすべての SNMP 通知 をイネーブルにします。
snmp-serverenabletrapsatmpvc	レガシー ATM PVC 障害トラップの送信を イネーブルにします。
snmp-serverenabletrapsatmpvcextensionmibversion	拡張 ATM PVC SNMP 通知をサポートする MIB または ATM OAM F5 CC、F5 AIS/RDI、および F5 ループバック障害の SNMP 通知をサポートする MIB を指定します。
snmp-serverhost	SNMP 通知動作の指定
snmp-servertrap-source	SNMP トラップの送信元とするインター フェイスを指定します。

# snmp-server enable traps atm pvc extension mibversion

ATM 相手先固定接続(PVC)簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)通知をサポートする MIB、または ATM 運用管理および保守(OAM)F5 連続性チェック(CC)管理、ATM OAM F5 AIS/RDI 管理および F5 ループバック障害管理の SNMP 通知をサポートする MIB を指定するには、グローバルコンフィギュレーションモードで snmp-server enable traps atm pvc extension mibversion コマンドを使用します。 MIB 指定を削除するには、このコマンドの no 形式を使用します。

snmp-server enable traps atm pvc extension mibversion  $\{1|2\}$  no snmp-server enable traps atm pvc extension mibversion  $\{1|2\}$ 

#### 構文の説明

<sup>1</sup>拡張 ATM 相手先固定接続(PVC)SNMP 通知をサポートする MIB を指定します。これがデ │フォルトです。

**2**MIB バージョン 1 でサポートされる通知に加えて、ATM OAM F5 CC および ATM OAM F5 AIS/RDI SNMP 通知をサポートする MIB を指定します。

#### コマンド デフォルト

SNMP notifications are disabled.

#### コマンドモード

グローバル設定

#### コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(15)T	このコマンドが導入されました。
12.2(28)SB	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(28)SB に統合されました。

#### 使用上のガイドライン

MIB バージョン 1 は、レガシー拡張 ATM PVC トラップをサポートし、ファイル CISCO-IETF-ATM2-PVCTRAP-MIB-EXTN.my で定義されている MIB を指定します。 MIB バージョン 1 はデフォルトで実装されます。この MIB が snmp-server enable traps atm pvc extension mibversion 2 コマンドでディセーブルにされている場合、再びイネーブルにするには、 snmp-server enable traps atm pvc extension mibversion 1 コマンドまたは no snmp-server enable traps atm pvc extension mibversion 2 コマンドを使用します。

ATM OAM F5 CC および ATM OAM AID/RDI 障害通知をサポートする MIB を指定するには、snmp-server enable traps atm pvc extension mibversion 2 コマンドを使用します。この MIB は、ファイル CISCO-ATM-PVCTRAP-EXTN-MIB.my で定義されています。

TM OAM F5 連続性チェックをサポートする SNMP 通知をイネーブルにするには、グローバルコンフィギュレーション モードで snmp-server enable traps atm pvc extension コマンドを使用します。これらの SNMP 通知は Cisco FTP サイトの ftp://ftp.cisco.com/pub/mibs/v2/ にある CISCO-ATM-PVCTRAP-EXTN-MIB.my ファイルに定義されています。

ATM OAM 連続性チェック SNMP 通知を使用する前に、oam-pvc manage cc コマンドを使用して PVC 上で OAM F5 連続性チェックの OAM 管理とサポートをイネーブルにする必要があります。

例

次の例では、ATM OAM 連続性チェックの SNMP 通知をサポートする MIB が実装され、ATM OAM 連続性チェックの通知がイネーブルになります。エンドツーエンド OAM F5 連続性チェックのサポートは、PVC 0/1 上でイネーブルです。

```
Router(config) # snmp-server enable traps atm pvc extension mibversion 2
Router(config) # snmp-server enable traps atm pvc extension oam failure aisrdi
Router(config) # snmp-server enable traps atm pvc extension oam failure endcc
Router(config) # snmp-server enable traps atm pvc extension oam failure segmentcc
Router(config) # snmp-server enable traps atm pvc extension oam failure loopback
Router(config) # snmp-server enable traps atm pvc extension up
Router(config) # interface atm 0
Router(config-if) # pvc 0/40
Router(config-if-atm-vc) # oam-pvc manage cc end
```

#### 関連コマンド

Command	Description
debugatmoamcc	ATM OAM F5 CC 管理アクティビティを表示します。
oam-pvcmanagecc	ATM OAM F5 CC 管理を設定します。
snmp-serverenabletraps	システムで使用可能なすべての SNMP 通知をイネーブルにします。
snmp-serverenabletrapsatmpvc	レガシー ATM PVC DOWN トラップの送信をイネーブルにします。
snmp-serverenabletrapsatmpvcextension	拡張 ATM PVC SNMP 通知と、ATM OAM F5 CC、ATM OAM F5 AIS/RDI、およびループバック障害のSNMP 通知の送信をイネーブルにします。

# snmp-server enable traps atm subif

ATM サブインターフェイスの Simple Network Management Protocol (SNMP) トラップ (通知) を有効にするには、グローバル コンフィギュレーション モードで

snmp-serverenabletrapsatmsubif コマンドを使用します。ATM サブ インターフェイス固有の SNMP トラップを無効にするには、このコマンドの no 形式を使用します。

snmp-server enable traps atm subif [count max-traps] [interval 秒] no snmp-server enable traps atm subif [count max-traps] [interval 秒]

# 構文の説明

count	(任意) 指定した間隔で送信されるトラップの最大数を指定します。
max-traps	(任意) トラップの数。範囲は 1 ~ 1000 です。デフォルトは 10 です。
interval	(任意) 連続するトラップ間の最小間隔を指定します。
秒	(任意) 間隔を秒単位で指定します。範囲は0~3600です。デフォルトは10です。

### コマンド デフォルト

ATM サブインターフェイスの SNMP トラップはディセーブルです。

### コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

#### コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(13)T	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2(33)SXH	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SXH に統合されました。
12.2(33)SRE6	このコマンドが変更されました。ATM サブインターフェイスの SNMP 通知の送信を有効にするには、このコマンドをグローバル コンフィギュレーション モードで設定した後、各 ATM サブインターフェイスで snmp trap link-status コマンドを設定する必要があります。
15.1(3)S3	このコマンドが、Cisco IOS Release 15.1(3)S3 に統合されました。

使用上のガイドライン snmp-serverenabletrapsatmsubif コマンドを使用するには、snmp-servertraplinkietf コマンドが 設定されている必要があります。RFC 2233 IETF 標準準拠の linkUp/linkDown トラップを使用 するようにルータを設定するには、snmp-servertraplinkietf コマンドを使用します。デフォル トのシスコ オブジェクト定義では、サブインターフェイスのリンクアップ/リンクダウント ラップが正しく生成されません。

> ATM サブインターフェイスの SNMP 通知を有効にするには、snmp-serverenabletrapsatmsubif コマンドをグローバル コンフィギュレーション モードで設定した後、SNMP 通知をイネーブ

ルにする各 ATM サブインターフェイスで snmp trap link-status コマンドを設定する必要があります。

SNMP 通知は、トラップまたは情報要求として送信できます。このコマンドは、特定の通知タイプのトラップと情報要求の両方をイネーブルにします。

サブインターフェイスがダウン状態になるか、ダウン状態でなくなると、ATM サブインターフェイスのトラップがネットワーク管理システム(NMS)に送信されます。

トラップ ストームを防止するには、count および interval キーワードを設定してトラップ数やトラップの送信頻度を制限できます。interval を 0 秒に設定すると、すべての ATM サブインターフェイス トラップが送信されます。

ATM サブインターフェイス トラップを無効にするには、**no snmp-serverenabletrapsatmsubif** コマンドを使用します。トラップをディセーブルにした場合は、SNMP管理アプリケーションを使用して、サブインターフェイスのステータス情報についてルータをポーリングできます。

snmp-serverenabletrapsatmsubif コマンドは、snmp-serverhost コマンドと組み合わせて使用します。snmp-serverhost コマンドを使用して、SNMP 通知を受信するホスト(1 つ以上)を指定します。通知を送信するには、少なくとも 1 つの snmp-server host コマンドを設定する必要があります。

デフォルトでは(つまり、snmp-serverenabletrapsatmsubif コマンドが設定されていない場合)、ifLinkUpDownTrapEnable オブジェクトが disabled(2) を返し、サブインターフェイスに対するトラップは生成されません。

snmp-serverenabletrapsatmsubif コマンドが設定されている場合、ifLinkUpDownTrapEnable オブジェクトはサブインターフェイスのすべての ATM AAL5 レイヤに対して enabled(1) に設定されます。(debugsnmppackets コマンドが有効にされた状態で)トラップが生成されることを確認するには、shutdown or noshutdown コマンドを入力してトラップを表示します。

サブインターフェイスに snmptraplink-status コマンドを設定すると、トラップが生成され、ifLinkUpDownTrapEnable オブジェクトが enabled(1) に設定されます。サブインターフェイスに snmptraplink-status コマンドが設定されていなければ、ifLinkUpDownTrapEnable オブジェクト はそのサブインターフェイスに対して disabled(2) に設定され、shutdown または noshutdown コマンドはそのサブインターフェイスに対してトラップを生成しなくなります。

次に、デバイスの ATM サブインターフェイス トラップをイネーブルにする例を示します。このデバイスの ATM サブインターフェイスが状態を変更すると、ホスト 172.16.61.90 は通知を受信します。

```
! For ATM subinterface trap to work on your router, you must first have SNMP support and
! an IP routing protocol configured on your router.
Device(config)# snmp-server community public ro
```

```
Device(config)# snmp-server host 172.16.61.90 public
Device(config)# snmp-server trap link ietf
Device(config)# snmp-server enable traps snmp
Device(config)# ip routing
```

Device(config) # router igrp 109

例

Device(config-router) # network 172.16.0.0

! Enable ATM subinterface trap support.

Device(config) # snmp-server enable traps atm subif count 5 interval 60

# 関連コマンド

Command	Description
snmp-serverenabletraps	システムで使用可能なすべての SNMP トラップをイネーブル にします。
snmp-serverenabletrapsatmpvc	ATM PVC SNMP 通知の送信をイネーブルにします。
snmp-serverhost	SNMP 通知動作の指定
snmp-servertraplinkietf	RFC 2233 に準拠するリンクアップ/リンクダウン SNMP トラップをイネーブルにします。
snmp-servertrap-source	SNMP トラップの送信元とするインターフェイスを指定します。
snmp trap link-status	SNMP リンク トラップの生成をイネーブルにします。

# sscop cc-timer

接続制御タイマーを変更するには、sscop cc-timer インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの no 形式を使用します。

sscop cc-timer 秒 no sscop cc-timer

# 構文の説明

秒開始メッセージの送信間隔(秒数)。

コマンド デフォルト

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
10.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

使用上のガイドライン 接続制御タイマーによって、確認応答を受信するまで BGN (接続確立)、END (解放)、ま たは RS(再同期)プロトコル データ ユニット(PDU)を送信する間隔が決定されます。

例

以下に、接続制御タイマーを15秒に設定する例を示します。

sscop cc-timer 15

#### 関連コマンド

Command	Description
sscopmax-cc	接続制御のSSCOP再試行回数を変更します。

# sscop keepalive-timer

キープアライブ タイマーを変更するには、sscop keepalive-timer インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの no 形式を使用します。

sscop keepalive-timer 秒 no sscop keepalive-timer 秒

# 構文の説明

秒シーケンシャルデータ (SD) または SDP PDU が送信キューに入れられていないか、保留中の確認応答を処理していない場合に、ルータが次の POLL PDU を送信するまで待機する 秒数。

# コマンド デフォルト

5秒

# コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション

#### コマンド履歴

リリース	変更箇所
10.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

### 例

以下に、キープアライブタイマーを15秒に設定する例を示します。

sscop keepalive-timer 15

# sscop max-cc

接続制御の再試行回数を変更するには、sscop max-cc インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの no 形式を使用します。

sscop max-cc retries
no sscop max-cc

### 構文の説明

retries 確認応答を受信するまで、SSCOPがBGN(接続確立)、END(解放)、またはRS(再同期)の送信を再試行する回数。有効な範囲は  $1\sim6000$  です。

# コマンド デフォルト

リトライ 10回

### コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
10.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

# 例

以下に、接続制御の再試行回数を 20 に設定する例を示します。

sscop max-cc 20

# 関連コマンド

Command	Description
sscopcc-timer	SSCOP接続制御タイマーの値を変更します。

# sscop poll-timer

ポーリングタイマーを変更するには、sscop poll-timer インターフェイス コンフィギュレーショ ンコマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの no 形式を使用します。

sscop poll-timer 秒 no sscop poll-timer

# 構文の説明

秒ルータが次のPOLLPDUを送信するまで待機する秒数。

コマンド デフォルト

100秒

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション

#### コマンド履歴

リリース	変更箇所
10.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

<del>使用上のガイドライン</del> ポーリング タイマーは、SD または SDP PDU が送信キューに入れられているか、保留中の確 認応答を処理していない場合に POLL PDU を送信する間隔を制御します。

例

以下に、ポーリングタイマーを15秒に設定する例を示します。

sscop poll-timer 15

# sscop receive-window

レシーバ ウィンドウを変更するには、sscop receive-window インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの no 形式を使用します。

sscop receive-window packets: パケット数 no sscop receive-window

### 構文の説明

packets: パケット 数

ATM スイッチに確認応答を送信するまで、インターフェイスで受信できるパケットの数。有効な範囲は  $1 \sim 6000$  です。

コマンド デフォルト

7パケット

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
10.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

例

以下に、レシーバウィンドウを10パケットに設定する例を示します。

sscop rcv-window 10

# sscop send-window

トランスミッタ ウィンドウを変更するには、sscop send-window インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの no 形式を使用します。

sscop send-window packets: パケット数 no sscop send-window

### 構文の説明

packets: パケット 数 ATM スイッチから確認応答を受信するまで、インターフェイスで送信できるパケットの数。有効な範囲は  $1 \sim 6000$  です。

### コマンド デフォルト

7パケット

# コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
10.0	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

# 例

以下に、トランスミッタ ウィンドウを 10 パケットに設定する例を示します。

sscop send-window 10

# SVC

ATM 相手先選択接続(SVC)を作成して、宛先ネットワーク サービス アクセス ポイント (NSAP) のアドレスを指定するには、svc インターフェイス コンフィギュレーション コマン ドを使用します。SVC を無効にするには、このコマンドの no 形式を使用します。

svc [name] [nsap address] [ces] no svc [name] [nsap address] [ces]

### 構文の説明

name	(任意) SVC およびマップの名前。名前には、16 文字まで使用できます。パッシブ CES SVC を作成する場合、名前は必須です。
nsap address	(任意) 宛先 ATM NSAP のアドレス。40 桁ちょうどの 16 進数を正しい形式で指定する必要があります。「使用上のガイドライン」の項を参照してください。アクティブ CES SVC を作成する場合、NSAP のアドレスは必須です。
ces	(任意) 回線エミュレーション サービス カプセル化。このキーワードは、 OC-3/STM-1 ATM 回線エミュレーション サービス ネットワーク モジュールでの み使用できます。

コマンド デフォルト

NSAP のアドレスは定義されません。

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション

### コマンド履歴

リリース	変更箇所	
11.3	このコマンドが導入されました。	
12.1(2)T	Cisco 2600 および Cisco 3600 シリーズ プラットフォーム上で OC-3/STM-1 ATM 回線エミュレーション サービス ネットワーク モジュールを使用する際に CES カプセル化を設定するために、 $\cos$ キーワードが追加されました。	
12.1(3)T	このコマンドが変更され、特定の NSAP アドレスを関連付けずに SVC を作成できるようになりました。	
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。	
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。	

使用上のガイドライン ATM SVC のパラメータを設定した後、SVC 設定を有効にするには、interface-ATM-VC または interface-CES-VC コンフィギュレーション モードを終了する必要があります。

例

SVC の *name* を指定した後は、**svc** *name* を入力するだけで、interface-ATM-VC または interface-CES-VC コンフィギュレーション モードを再び開始できます。

NSAPアドレスおよび関連付けられているすべてのパラメータを削除するには、**no svc** *name* または **no svc** *nsap address* を入力します。

特定のNSAPアドレスを指定せずにSVCを作成することで、ルータは任意のATMアドレスからのコールを受け入れることが可能になります。また、同じ設定を使用して複数のVCを設定することもできます。

アクティブまたはパッシブ CES SVC を設定するには、 $\cos$  キーワードを使用します。アクティブ CES SVC は、SVC コールを発信および着信できます。パッシブ CES SVC はコールを着信するだけです。



(注)

Cisco IOS では、ポイントツーポイントインターフェイス上での SVC の作成をサポートしていません。

#### SVC の例

以下に、ATM インターフェイス 2/0/0 上に「chicago」という名前の SVC を作成する例 を示します。

interface atm 2/0/0
 svc chicago

# NSAP アドレスを指定した SVC の例

以下に、「lion」という名前の SVC を作成して、宛先 ATM NSAP アドレス (40 桁の 16 進数) を指定する例を示します。

svc lion nsap 47.0091.81.000000.0040.0B0A.2501.ABC1.3333.3333.05

#### アクティブ CES SVC の例

以下に、「ces1」という名前のアクティブ CES SVC を作成する例を示します。

interface atm 1/0
 svc ces1 nsap 47.00.00.000000.0040.0B0A.2501.ABC1.01.01.00 ces

### パッシブ CES SVC の例

以下に、「ces2」という名前のパッシブ CES SVC を作成する例を示します。

interface atm 1/0
 svc ces2 ces

# transmit-priority

仮想回線(VC)の伝送優先度を設定するには、VC コンフィギュレーション モードで **transmit-priority** コマンドを使用します。VC または PVC をデフォルトの伝送優先度に戻すに は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

transmit-priority level no transmit-priority

### 構文の説明

| keel | 指定した伝送優先度レベルに PVC を設定します。値の範囲は 1 ~ 6 です。デフォルト値は VC に設定されている Quality of Service (QoS) クラスによって決まります。 VC の QoS クラスは、指定された ATM インターフェイスによって決まります。

#### コマンド デフォルト

各 VC には、その VC に設定されている QoS クラスに応じたデフォルト伝送優先度が設定されます。

### コマンドモード

VC コンフィギュレーション モード

#### コマンド履歴

リリース	変更箇所		
11.1(22)CC	このコマンドが PA-A3 ATM ポート アダプタ用に導入されました。		
12.(0)4	Catalyst RSM/VIP プロセッサ カードを搭載した Catalyst 5000 ファミリ スイッチで、PA-A3 ATM ポート アダプタのサポートが追加されました。		
12.0(7)XR	Cisco 7200 シリーズ ルータで PA-A3 ATM ポート アダプタのサポートが追加されました。		
12.1(1)EX	Catalyst 6000 ファミリの FlexWAN モジュールを搭載した Catalyst 6000 ファミリスイッチで、PA-A3 ATM ポート アダプタのサポートが追加されました。		
12.2(2)T	VIP2-40 以上のプロセッサ カードを使用する Cisco 7000 および Cisco 7500 シリーズ ルータで、PA-A3 ATM ポート アダプタのサポートが追加されました。		
12.2(4)	PA-A3 ポート アダプタの最大優先度レベルが 4 から 6 に引き上げられ、優先度レベルの有効な範囲が 1 ~ 6 になりました。		
12.2(11)YZ	Cisco 7300 シリーズ ルータで PA-A3 ATM ポート アダプタのサポートが追加されました。		
12.2(18)SXE	Cisco 7600 シリーズ ルータと Catalyst 6500 シリーズ スイッチ上の $2$ ポートおよび $4$ ポート OC-3c/STM-1 ATM SPA と $1$ ポート OC-12c/STM-4 ATM SPA 共有ポートアダプタをサポートするために、このコマンドが Cisco IOS リリース 12.2(18)SXE に統合されました。		
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。		

使用上のガイドライン デフォルトでは、PA-A3 ATM ポート アダプタおよび ATM 共有ポート アダプタ (SPA) に作 成された相手先固定接続(PVC)および相手先選択接続(SVC)は、VCまたはPVCに設定さ れている Quality of Service (QoS) クラスに応じたデフォルト伝送優先度を使用します。次の 表に、サービスクラスのタイプごとのデフォルト伝送優先度レベルを記載します。

表 17: ATM サービス クラス別デフォルト伝送優先度

伝送優先度	サービス カテゴリ	
PA-A3-OC3、 PA-A3-DS3 ポートア ダプタ	ATM 共有ポート アダプタ(SPA)	
0 (最高)	$CBR^{\frac{1}{2}}$ 、 $OAM^{\frac{2}{2}}$ セル、およびシグナ リング	シグナリング、OAM、およびそ の他の制御セル
1	$AAL5^{3}$ または $AAL2^{4}$ VoATM $^{5}$ (任意のサービス カテゴリ)	CBR (回線速度の半分より大きい場合)
2	VBR-rt <sup>6</sup>	CBR (回線速度の半分より小さい 場合)
3	VBR-nrt <sup>7</sup>	音声トラフィック
4	$ABR^{8}$	VBR-rt
5	UBR <sup>9</sup>	VBR-nrt
6	未サポート	UBR
7 (最低レベル)	未サポート	未使用(Unused)

- <sup>1</sup> CBR = 固定ビット レート
- OAM = 運用管理および保守
- AAL5 = 非同期転送モード適応レイヤ5
- AAL2=非同期転送モード適応レイヤ2
- <sup>5</sup> VoATM = Voice over ATM
- <sup>6</sup> VBR-rt=リアルタイム可変ビットレート
- <sup>7</sup> VBR-nrt=非リアルタイム可変ビットレート
- ABR = 使用可能ビット レート
- UBR = 未指定ビットレート

特定の VC または PVC のデフォルト伝送優先度を変更するには、transmit-priority コマンドを 使用します。

transmit-priority コマンドは、以下の場合はサポートされません。

• PA-A3 ATM ポート アダプタが、CBR トラフィックと OAM およびその他の制御セル用に 優先度 0 (最大) を予約している場合。このトラフィックの伝送優先度を変更することは できません。優先度0に他のサービスクラスを設定することもできません。

例

- ATM SPA の整形仮想パス上の VC に対して **transmit-priority** コマンドを使用することはできません。
- PA-A3-OC12 ポート アダプタが transmit-priority コマンドをサポートしていない場合。



**ヒント** PVC または SVC の現在の伝送優先度を表示するには、**showatmpvc** および **showatmsvc** コマンドを使用します。

以下に、**transmit-priority** コマンドを使用して、PA-A3 ATM ポートアダプタ上の PVC の優先度を変更する例を示します。 PVC は VBR-rt サービス クラスを対象に設定されています。このクラスのデフォルトの伝送優先度レベルは 2 ですが、**transmit-priority** コマンドで優先度レベルを 3 に変更します。

Router# configure terminal

Router(config) # interface atm 3/0.10

Router(config) # pvc 10/1

Router(config-if-atm-vc)# vbr-rt 48 48

Router(config-if-atm-vc)# transmit-priority 3

Router(config-if-atm-vc)# end

Router#

以下に、transmit-priority コマンドを使用して、ATM SPA 上の PVC の優先度を変更する例を示します。 PVC はデフォルトでUBR サービスクラスに設定されるため、デフォルトの伝送優先度は6に設定されますが、transmit-priority コマンドで優先度レベルを4 に変更します。

Router# configure terminal

Router(config) # interface atm 4/1/3

Router(config-if) # pvc 1/100

Router(config-if-atm-vc)# transmit-priority 4

Router(config-if-atm-vc)# end

Router#



(注)

VC クラスで設定できる最大伝送優先度は 6 ですが、IMA インターフェイスに適用できる最大の伝送優先度レベルは 4 です。適用可能な伝送優先度を超える値を設定しても、優先度レベルは適用可能な最大伝送優先度にフォールバックします。

コマンド	説明
showatmpvc	特定の相手先固定接続 (PVC) の構成が表示されます。
showatmsvc	相手先選択接続(SVC)の設定を表示します。

# tx-limit

ATM 仮想回線(VC)の送信バッファ数を指定するには、ATM VC、VC-bundle、VC-class、ま たは VC-range コンフィギュレーション モードで tx-limit コマンドを使用します。特定の VC の 送信バッファ数をデフォルト値にリセットするには、このコマンドの no 形式を使用します。

tx-limit buffers no tx-limit

### 構文の説明

buffers

この VC に使用するバッファ数を指定します。有効な範囲は 1~57343 です。デフォ ルト値は、現在の VC ライン レートに基づきます。

## コマンド デフォルト

VC ライン レートから自動的に計算されるデフォルトの遅延は 100 ミリ秒です(または、atm tx-latency コマンドで指定された値)。

## コマンドモード

Interface-ATM-VC コンフィギュレーション (ATM VC の場合)

VC-bundle コンフィギュレーション

VC-class コンフィギュレーション

VC-range コンフィギュレーション

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(18)SXE	Catalyst 6500 シリーズ スイッチおよび Cisco 7600 シリーズ ルータ上の ATM 共有ポート アダプタ (SPA) を対象に、このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。

使用上のガイドライン ATM SPA インターフェイス上に VC を設定すると、Cisco IOS ソフトウェアによって、その VC の発信トラフィックに必要な送信バッファの最大数が自動的に決定されます。Cisco IOS ソ フトウェアはバッファ数を計算するために、設定済みVCラインレートと遅延値の両方を使用 します。各送信バッファには、ATM セル (53 バイト) を含めることができます。

> デフォルトでは、各VCはatmtx-latency コマンドで指定された遅延値を使用します。これは、 デフォルトで100ミリ秒に設定されます。その後で送信バッファの最大数が計算されるため、 この遅延値内で、最大 VC ライン レートのトラフィックを送信できます。

特定の VC のトラフィック フローに異なる遅延値が必要な場合は、tx-limit コマンドを使用し て、そのVCの送信バッファ数を手動で設定します。これにより、インターフェイス上の他の VC に影響を与えることなく、VC ごとに遅延値を微調整できます。

ヒント

atm tx-latency コマンドを使用して、インターフェイス上の VC すべてのデフォルトの遅延値を指定します。その後、必要に応じて tx-limit コマンドを使用し、特定の VC の設定を微調整します。



(注)

各 VC は、tx-limit コマンドで設定されたバッファ数に関わらず、常に1つ以上のパケットを送信できるため、バッファの数はパケット サイズによっても左右されることがあります。
tx-limit コマンドで指定されたバッファ数が非常に少ない場合、VC で送信しなければならないパケットのサイズが非常に大きくなるため、インターフェイスが VC のバッファの数をパケットのサイズに対応できるだけの数に増やすことがあります。つまり、最大 MTU サイズを上限として、パケットに対応できる数までバッファの数が増える場合があるということです。



(注)

他の ATM インターフェイスでは tx-ring-limit コマンドを使用して同様の結果を達成していましたが、このコマンドは ATM SPA インターフェイスではサポートされていません。 ATM SPA インターフェイスは SPA アーキテクチャに適用されないためです。

以下に、ATM VC の最大バッファ数を 500 に設定する例を示します。

Router# configure terminal

Router(config) # interface atm 4/0/0.10 point-to-point

Router(config-subif) # pvc 10/101

Router(config-if-atm-vc)# tx-limit 500

Router(config-if-atm-vc)#

以下に、ATM VC のバッファ数をデフォルト値にリセットする例を示します。デフォルト値は、VC ライン レートでデフォルトの遅延値を 100 ミリ秒にするために必要な任意のバッファ サイズです(または、 $atm\ tx$ -latency コマンドで指定された値)。

Router# configure terminal

Router(config) # interface atm 3/0/1.10 point-to-point

Router(config-subif) # pvc 10/20

Router(config-if-atm-vc)# no tx-limit
Router(config-if-atm-vc)#

例

コマンド	説明
atmtx-latency	ATM 共有ポートアダプタ(SPA)インターフェイスのデフォルトの送信遅延を 指定します。

# ubr

ATM 相手先固定接続(PVC)、PVC 範囲、相手先選択接続(SVC)、仮想回線(VC)クラス、または、VC バンドル メンバーに対して、未指定ビット レート(UBR)Quality of Service(QoS)を設定し、出力ピーク セル レート(PCR)を指定するには、該当するコマンド モードで  $\mathbf{ubr}$  コマンドを使用します。UBR パラメータを削除するには、このコマンドの  $\mathbf{no}$  形式を使用します。

ubr output-pcr [input-pcr]
no ubr output-pcr [input-pcr]

## 構文の説明

output-pcr	KB/秒 (KBps) 単位の出力ピーク セル レート (PCR)。
	(SVCの場合だけの任意) kbps 単位の入力 PCR。この値が省略される場合、input-pcr 引数の値は output-pcr 引数の値と等しくなります。

## コマンドデフォルト

物理インターフェイスの最大ライン レートの UBR QoS。

## コマンドモード

ATM PVC-in-range コンフィギュレーション(PVC 範囲内の個々の PVC の場合)

ATM PVC コンフィギュレーション

ATM PVC 範囲コンフィギュレーション(ATM PVC 範囲の場合)

Bundle-vc コンフィギュレーション(ATM VC バンドル メンバーの場合)

interface-ATM-VC コンフィギュレーション(ATM PVC または SVC の場合)

VC-class コンフィギュレーション (VC クラスの場合)

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.3T	このコマンドが導入されました。
12.0(3)T	このコマンドが拡張され、ATM VC バンドルと ATM VC バンドル メンバーに対する UBR QoS の選択と出力 PCR の設定をサポートするようになりました。
12.1(5)T	このコマンドが、PVC 範囲コンフィギュレーション モードおよび PVC-in-range コンフィギュレーション モードで使用できるようになり ました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャセット、プラットフォーム、およびプラットフォームハードウェアによって異なります。

リリース	変更箇所
Cisco IOS XE リリース	このコマンドが、ATM PVP コンフィギュレーション モードで使用で
2.3	きるようになりました。

## 使用上のガイドライン

複数の ATM SVC に相互に異なる出力 PCR と入力 PCR を設定するには、output-pcr および input-pcr 引数を使用して、出力値、入力値をそれぞれ明示的に指定する必要があります。

**ubr**、**ubr+**、または **vbr-nrt** コマンドを使用して、**QoS** パラメータを設定します。最後に入力したコマンドが、該当する PVC または SVC に適用されます。

ATM PVC、SVC、または VC バンドル メンバーに対して明示的に ubr コマンドが設定されない場合、VC は次のデフォルト設定を継承します(優先順にリストされています)。

- PVC または SVC 自身に割り当てられた VC クラスの任意の QoS コマンド (ubr、ubr+、または vbr-nrt) の設定。
- PVC または SVC の ATM サブインターフェイスに割り当てられた VC クラスの任意の QoS コマンド (ubr、ubr+、または vbr-nrt) の設定。
- PVC または SVC の ATM メイン インターフェイスに割り当てられた VC クラスの任意の QoS コマンド (ubr、ubr+、または vbr-nrt) の設定。
- グローバル デフォルト: PVC または SVC の最大ライン レートの UBR QoS

このコマンドを VC-class コンフィギュレーション モードで使用するには、vc-classatm グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力します。コマンドを含む VC クラスがスタンドアロン VC (バンドル メンバーではない VC) に付加されている場合、このコマンドは効果がありません。

このコマンドを bundle-VC コンフィギュレーション モードで使用するには、最初に bundle コマンドを入力してバンドルを指定してから、バンドル コンフィギュレーション モードを開始します。続いて、pvc-bundle コンフィギュレーションコマンドを入力して、VCをバンドルメンバーとしてバンドルに追加し、bundle-VC コンフィギュレーション モードを開始します。

VC バンドルの VC は、以下の設定継承規則に従います(次に優先順位が高い順にリストされています)。

- bundle-VC モードの VC 設定
- バンドルモードのバンドル設定(および、割り当てられた VC-class コンフィギュレーションの影響)
- サブインターフェイス モードのサブインターフェイス設定

以下に、ATM PVC の output-pcr 引数を 100,000 kbps に指定する例を示します。

pvc 1/32 ubr 100000

例

以下に、次の例では、ATM SVC の *output-pcr* および *input-pcr* 引数を、それぞれ 10,000 kbps、9000 kbps に指定する例を示します。

svc lion nsap 47.0091.81.000000.0040.0B0A.2501.ABC1.3333.3333.05
 ubr 10000 9000

コマンド	説明
abr	ABR QoS を選択し、ATM PVC または仮想回線クラスの出力ピーク セル レートと出力最小保証セル レートを設定します。
broadcast	ATM VC クラス、PVC、SVC、または VC バンドルのブロードキャストパケット重複および伝送を設定します。
bump	仮想回線バンドルに割り当てることができる仮想回線クラスのバンプ規則を設 定します。
bundle	バンドルを作成するか既存のバンドルを変更して、バンドルコンフィギュレー ション モードに入ります。
class-int	VC クラスを ATM メイン インターフェイスまたはサブインターフェイスに割り当てます。
class-vc	VCクラスをATM PVC、SVC、またはVCバンドルメンバーに割り当てます。
encapsulation	インターフェイスで使用するカプセル化方式を設定します。
inarp	ATM PVC、VC クラス、または VC バンドルの Inverse ARP 期間を設定します。
oam-bundle	エンドツーエンド F5 OAM ループバック セルの生成、および仮想回線バンドルに適用できる仮想回線クラスの OAM 管理を有効化します。
oamretry	ATM PVC、SVC、VC クラス、または、VC バンドルの OAM 管理に関連する パラメータを設定します。
precedence	仮想回線バンドルに割り当てることができ、したがって、そのバンドルのすべての仮想回線メンバーに適用される、仮想回線クラスの precedence レベルを設定します。
protect	仮想回線バンドル メンバーに適用するため、保護されたグループまたは保護 された仮想回線状態を仮想回線クラスに設定します。
protocol(ATM)	ATM PVC、SVC、VC クラス、または VC バンドルのスタティック マップを設定します。次に、直接 PVC 上、VC バンドル上、または VC クラス内でInverse ARP を設定することによって、ATM PVC の Inverse ARP または Inverse ARP ブロードキャストをイネーブルにします(IP および IPX プロトコルだけに適用されます)。

コマンド	説明
pvc-bundle	PVC をバンドルのメンバーとしてバンドルに追加し、その PVC バンドルメンバーを設定するために bundle-vc コンフィギュレーション モードに入ります。
ubr+	UBR QoS を設定し、ATM PVC、SVC、VC クラス、または VC バンドル メンバーの出力ピーク セル レートと出力最小保証セル レートを指定します。
vbr-nrt	可変ビットレート非リアルタイム(VBR-NRT)QoS を設定し、ATM PVC、SVC、VC クラス、または VC バンドル メンバーの出力ピーク セル レート、出力平均セルレート、および、出力最大バースト セルサイズを指定します。

# ubr+

ATM 相手先固定接続(PVC)、PVC 範囲、相手先選択接続(SVC)、仮想回線(VC)クラス、または、VC バンドルメンバーに対して、未指定ビット レート(UBR)Quality of Service (QoS)を設定し、出力ピーク セル レート(PCR)および出力最小保証セル レートを指定するには、該当するコマンド モードで  $\mathbf{ubr}$ + コマンドを使用します。 $\mathbf{UBR}$ + パラメータを削除するには、このコマンドの  $\mathbf{no}$  形式を使用します。

ubr+ output-pcr output-mcr [input-pcr] [input-mcr]
no ubr+ output-pcr output-mcr [input-pcr] [input-mcr]

## 構文の説明

output-pcr	kbps 単位の出力ピーク セル レート (PCR)
output-mcr	kbps 単位の出力最小保証セル レート
input-pcr	(SVCの場合だけの任意)kbps単位の入力PCR。この値が省略された場合、input-pcrの値は、output-pcrの値と等しくなります。
input-mcr	(SVC の場合だけの任意) kbps 単位の入力最小保証セル レートこの値が省略された場合、input-mcr の値は、output-mcr の値と等しくなります。

## コマンド デフォルト

UBR QoS は、物理インターフェイスの最大ラインレートです。

## コマンドモード

interface-ATM-VC コンフィギュレーション(非 DSL インターフェイスだけの ATM PVC、または非 DSL インターフェイスだけの ATM SVC の場合)VC-class コンフィギュレーション(VC クラスの場合)Bundle-VC コンフィギュレーション(ATM VC バンドル メンバーの場合)PVC range コンフィギュレーション(ATM PVC 範囲の場合)PVC-in-range コンフィギュレーション(PVC 範囲内の個々の PVC の場合)

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.3 T	このコマンドが導入されました。
12.0(3)T	このコマンドは、UBR+QoSの選択、および、ATM VC バンドルと VC バンドルに対する出力 PCR と出力最小保証セルレートの設定をサポートするために拡張されました。
12.1(5)T	このコマンドが、PVC 範囲コンフィギュレーション モードおよび PVC-in-range コンフィギュレーション モードで使用できるようになりました。
12.4(2)XA	このコマンドが DSL ATM インターフェイス上で有効になりました。
12.4(6)T	このコマンドが DSL ATM インターフェイス上で有効になりました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。

リリース	変更箇所
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャ セット、プラットフォーム、およびプラットフォーム ハードウェアによって異なります。

使用上のガイドライン 相互に異なる出力 PCR と入力 PCR を持つ複数の ATM SVC を設定するには、output-pcr、 output-mcr、input-pcr、および input-mcr 引数を使用して、明示的に出力値と入力値を指定する 必要があります。

> ubr、ubr+、または vbr-nrt コマンドを使用して、OoS パラメータを設定します。最後に入力 したコマンドが、該当する PVC または SVC に適用されます。

ATM PVC または SVC 上で、ubr+コマンドが明示的に設定されない場合、VC は次のデフォル ト設定を継承します(優先順にリストされています)。

- PVC または SVC 自身に割り当てられた VC クラスの任意の QoS コマンド (ubr、ubr+、 または vbr-nrt) の設定。
- PVC ATM サブインターフェイスまたは SVC ATM サブインターフェイスに割り当てられ た VC クラスの任意の QoS コマンド (ubr、ubr+、または vbr-nrt) の設定。
- PVC メイン インターフェイスまたは SVC ATM メイン インターフェイスに割り当てられ た VC クラスの任意の QoS コマンド (ubr、ubr+、または vbr-nrt) の設定。
- グローバル デフォルト: PVC または SVC の最大ライン レートの UBR OoS

このコマンドを VC-class コンフィギュレーション モードで使用するには、ubr+ コマンドを入 力する前に vc-class atm グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力します。コマンド を含む VC クラスがスタンドアロン VC(バンドル メンバーではない VC)に付加されている 場合、このコマンドは効果がありません。

このコマンドを bundle-VC コンフィギュレーション モードで使用するには、bundle コマンド を入力して、VC メンバーが属するバンドルを指定してから、bundle コンフィギュレーション モードを開始します。最後に、pvc-bundle バンドル コンフィギュレーション コマンドを入力 して VC をメンバーとしてバンドルに追加します。

VC バンドルの VC は、次の設定継承規則を使用します(2番目に高い優先順位の順にリスト されています)。

- bundle-VC モードの VC 設定
- バンドルモードのバンドル設定(および、割り当てられた VC-class コンフィギュレーショ ンの影響)
- サブインターフェイス モードのサブインターフェイス設定

DSL ATM インターフェイスは相手先選択接続(SVC)をサポートしません。

次に、DSL ライン上に UBR+PVC を設定する例を示します。

interface atm 0/0 pvc 4/100 ubr+ 2304 2304

以下に、ATM PVC の *output-pcr* 引数を 100,000 kbps に、*output-mcr* 引数を 3,000 kbps に指定する例を示します。

pvc 1/32 ubr+ 100000 3000

以下に、ATM SVC の output-pcr、output-mcr、input-pcr、および input-mcr 引数を、それぞれ 10000 kbps、3000 kbps、9000 kbps、1000 kbps に指定する例を示します。

svc lion nsap 47.0091.81.000000.0040.0B0A.2501.ABC1.3333.3333.05
ubr+ 10000 3000 9000 1000

Command	Description
abr	ABR QoS を選択し、ATM PVC クラスまたは VC クラスの出力ピーク セル レートと出力最小保証セル レートを設定します。
broadcast	ATM VC クラス、PVC、SVC、または VC バンドルのブロードキャストパケット重複および伝送を設定します。
bump	VCバンドルに割り当てることができるVCクラスのバンプ規則を設定します。
bundle	バンドルを作成するか、既存のバンドルを変更するためにバンドル コンフィ ギュレーション モードを開始します。
class	VC クラスを ATM メイン インターフェイス、サブインターフェイス、PVC、SVC、VC バンドル、または VC バンドル メンバーに割り当てます。
encapsulation	インターフェイスで使用するカプセル化方式を設定します。
inarp	ATM PVC、VC クラス、または VC バンドルの InARP 期間を設定します。
oam-bundle	エンドツーエンド F5 OAM ループバック セルの生成、および VC バンドルに 適用できる VC クラスの OAM 管理を有効にします。
oamretry	ATM PVC、SVC、VC クラス、または、VC バンドルの OAM 管理に関連するパラメータを設定します。
precedence	VC バンドルに割り当てることができ、したがって、そのバンドルのすべての VC メンバーに適用される、VC クラスの precedence レベルを設定します。
protect	VCバンドルメンバーに適用するため、保護されたグループまたは保護された VC 状態を VC クラスに設定します。
protocol(ATM)	ATM PVC、SVC、VC クラス、または、VC バンドルのスタティック マップを 設定します。

Command	Description
pvc-bundle	PVC をバンドルのメンバーとしてバンドルに追加し、その PVC バンドルメンバーを設定するために bundle-VC コンフィギュレーション モードを開始します。
ubr	UBR QoS を設定し、ATM PVC、SVC、VC クラス、または VC バンドル メンバーの出力ピーク セル レートを指定します。
vbr-nrt	可変ビットレート非リアルタイム(VBR-NRT)QoS を設定し、ATM PVC、SVC、VC クラス、または VC バンドル メンバーの出力ピーク セル レート、出力平均セル レート、および、出力最大バースト セル サイズを指定します。
vbr-rt	VoATM 音声接続の可変ビット レートを設定します。

# ubr+ cos

サービスクラス (CoS) の値または値の範囲を未指定ビットレートプラス (UBR+) 仮想チャ ネル接続(VCC)にマップするには、LANE QoS データベース コンフィギュレーションモー ドでubr+cosコマンドを使用します。デフォルトの値または範囲に戻すには、このコマンドの no 形式を使用します。

ubr+ cos {valuerange} no ubr+ cos {valuerange}

## 構文の説明

value	単一の CoS 値。
range	CoS 値の範 囲。

コマンドデフォルト

UBR+ VCC のデフォルトの CoS 範囲は  $4 \sim 7$  です。

コマンドモード

LANE OoS データベース コンフィギュレーション

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(2)E	このコマンドが導入されました。
12.1(4)E2	このコマンドが変更され、信頼モードで動作する Catalyst 6000 ファミリ ATM モジュールと Catalyst 5000 ファミリ ATM モジュールのサポートが追加されました。
12.2(14)S	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(14)S に統合されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、Cisco IOS リリース 12.1(4)E1 までのルータ プラットフォームでのみサポート されます。Cisco IOS Release 12.1(4)E1 では、非信頼モードで動作する Catalyst 5000 ファミリ ATM モジュールを唯一の例外として、QoS over LANE機能を実行するすべてのプラットフォー ムでこのコマンドがサポートされます。

> 指定されたCoS値に一致するすべてのパケットがUBR+VCCで送信されます。単一のubr+cos コマンドをデータベースに入力できます。データベース内のすべてのネットワーク サービス アクセス ポイント (NSAP) が同じマッピングを使用します。別のマッピングが必要な場合 は、別個のデータベースを作成する必要があります。

> 複数の CoS 値を設定するには、個々の CoS 値をカンマで区切って入力するか、ハイフンで区 切った CoS 値の範囲を入力します。

例

以下に、CoS 値を 1 と  $3 \sim 5$  にマップする例を示します。

Router(lane-qos) # ubr+ cos 1,3-5

コマンド	説明
atm-address	特定の ATM アドレスに関連付けられている QoS パラメータを指定します。
laneclientqos	QoS over LANE データベースをインターフェイスに適用します。
laneqosdatabase	QoS over LANE データベースの構築プロセスを開始します。
showlaneqosdatabase	特定の QoS over LANE データベースの内容を表示します。

# vbr-nrt

ATM 相手先固定チャネル(PVC)、PVC 範囲、相手先選択接続(SVC)、VC クラス、または、VC バンドル メンバーの可変ビット レート非リアルタイム(VBR-NRT)Quality of Service (QoS)を設定し、出力ピーク セル レート(PCR)、出力平均セル レート(SCR)、および出力最大バーストセルサイズを指定するには、該当するコマンドモードでvbr-nrtコマンドを使用します。VBR-NRT パラメータを削除するには、このコマンドのvolume no 形式を使用します。

**vbr-nrt** *output-pcr output-scr output-maxburstsize* [*input-pcr*] [*input-scr*] [*input-maxburstsize*] **no vbr-nrt** *output-pcr output-scr output-maxburstsize* [*input-pcr*] [*input-scr*] [*input-maxburstsize*]

## Cisco 10000 シリーズ ルータ

vbr-nrt output-pcr output-scr output-maxburstsize no vbr-nrt output-pcr output-scr output-maxburstsize

### 構文の説明

output-pcr	KB/秒(KBps)単位の出力 PCR。
output-scr	kbps 単位の出力 SCR
output-maxburstsize	出力最大バースト セル サイズ(セルの数で示される)。
input-pcr	(SVC の場合だけの任意) kbps 単位の入力 PCR。
input-scr	(SVC の場合だけの任意) kbps 単位の入力 SCR。
input-maxburstsize	(SVC の場合だけの任意)入力最大バーストセルサイズ (セルの数で示される)。

## コマンド デフォルト

物理インターフェイスの最大ライン レートでの未指定ビット レート(UBR)QoS がデフォルトです。

## コマンドモード

ATM PVC-in-range コンフィギュレーション(PVC 範囲内の個々の PVC の場合)

ATM PVC 範囲コンフィギュレーション (ATM PVC 範囲の場合)

ATM PVC コンフィギュレーション

Bundle-vc コンフィギュレーション(ATM VC バンドル メンバーの場合)

interface-ATM-VC コンフィギュレーション(ATM PVC または SVC の場合)

VC-class コンフィギュレーション (VC クラスの場合)

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.3T	このコマンドが導入されました。

リリース	変更箇所
12.0(3)T	このコマンドは、ATMバンドルメンバーおよびVCバンドルメンバーに対する、BR-NRT QoS の設定、および、出力 PCR、出力 SCR、および、出力最大バーストセルサイズの指定をサポートするために拡張されました。
12.0(25)SX	このコマンドが Cisco IOS リリース 12.0(25)SX に統合され、Cisco 10000 シリーズ ルータに実装されました。
12.1(5)T	このコマンドが、PVC 範囲コンフィギュレーション モードおよび PVC-in-range コンフィギュレーション モードで使用できるようになり ました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2(31)SB2	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2(31)SB2 に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャセット、プラットフォーム、およびプラットフォームハードウェアによって異なります。
Cisco IOS XE リリース 2.3	このコマンドが、ATM PVP コンフィギュレーション モードで使用できるようになりました。

使用上のガイドライン ubr、ubr+、または vbr-nrt コマンドを使用して、QoS パラメータを設定します。最後に入力 したコマンドが、該当する PVC または SVC に適用されます。

> ATM PVC または SVC 上で、vbr-nrt コマンドが明示的に設定されない場合、VC は次のデフォ ルト設定を継承します(優先順にリストされています)。

- PVC または SVC 自身に割り当てられた VC クラスの任意の QoS コマンド (ubr、ubr+、 または vbr-nrt) の設定。
- PVC または SVC の ATM サブインターフェイスに割り当てられた VC クラスの任意の QoS コマンド (ubr、ubr+、または vbr-nrt) の設定。
- PVC または SVC の ATM メイン インターフェイスに割り当てられた VC クラスの任意の QoS コマンド (ubr、ubr+、または vbr-nrt) の設定。
- グローバル デフォルト: PVC または SVC の最大ライン レートの UBR QoS

このコマンドを VC-class コンフィギュレーション モードで使用するには、vbr-nrt コマンドを 入力する前に vc-class atm グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力します。コマン ドを含む VC クラスがスタンドアロン VC (バンドル メンバーではない VC) に付加されてい る場合、このコマンドは効果がありません。

このコマンドを bundle-VC コンフィギュレーション モードで使用するには、pvc-bundle コン フィギュレーション コマンドを入力し、VC をバンドル メンバーとして追加します。

VCバンドルのVCは、次の設定継承規則に従います(優先順位の順にリストされています)。

- bundle-VC モードの VC 設定
- バンドルモードのバンドル設定(および、割り当てられた VC-class コンフィギュレーションの影響)
- サブインターフェイス モードのサブインターフェイス設定

## Cisco 10000 シリーズ ルータ

入力 PCR、入力 SCR、および入力最大バースト サイズ (MBS) はサポートされていません。

Cisco IOS リリース 12.2(31)SB2 以降では、出力 PCR と出力 SCR を同じ値に設定する場合、Cisco IOS ソフトウェアが許容する最大バースト セル サイズは 1 となります。次に例を示します。

interface ATM2/0/0.81801 point-to-point
bandwidth 11760
pvc 81/801
 vbr-nrt 11760 11760 32
 encapsulation aal5snap
 protocol pppoe

interface ATM2/0/0.81801 point-to-point
bandwidth 11760
pvc 81/801
 vbr-nrt 11760 11760 1
 encapsulation aal5snap
 protocol pppoe

以下に、ATM PVC の出力 PCR を 100,000 kbps に、出力 SCR を 50,000 kbps に、出力 MBS を 64 に指定する例を示します。

pvc 1/32 vbr-nrt 100000 50000 64

次の例では、ATM SVC の VBR-NRT 出力パラメータ、および入力パラメータを指定しています。

svc atm-svc1 nsap 47.0091.81.000000.0040.0B0A.2501.ABC1.3333.3333.05
vbr-nrt 10000 5000 32 20000 10000 64

## 関連コマンド

コマンド	説明
abr	ABR QoS を選択し、ATM PVC または仮想回線クラスの出力ピーク セル レートと出力最小保証セル レートを設定します。
broadcast	ATM VC クラス、PVC、SVC、または VC バンドルのブロードキャストパケット重複および伝送を設定します。

例

コマンド	部 <b>田</b>
コイント	説明
bump	仮想回線バンドルに割り当てることができる仮想回線クラスのバンプ規則を設 定します。
bundle	バンドルを作成するか既存のバンドルを変更して、バンドルコンフィギュレー ション モードに入ります。
class-int	VC クラスを ATM メイン インターフェイスまたはサブインターフェイスに割り当てます。
class-vc	VCクラスをATM PVC、SVC、またはVCバンドルメンバーに割り当てます。
encapsulation	インターフェイスで使用するカプセル化方式を設定します。
inarp	ATM PVC、VC クラス、または VC バンドルの Inverse ARP 期間を設定します。
oam-bundle	エンドツーエンド F5 OAM ループバック セルの生成、および仮想回線バンドルに適用できる仮想回線クラスの OAM 管理を有効化します。
oamretry	ATM PVC、SVC、VC クラス、または、VC バンドルの OAM 管理に関連するパラメータを設定します。
precedence	仮想回線バンドルに割り当てることができ、したがって、そのバンドルのすべての仮想回線メンバーに適用される、仮想回線クラスの precedence レベルを設定します。
protect	仮想回線バンドルメンバーに適用するため、保護されたグループまたは保護 された仮想回線状態を仮想回線クラスに設定します。
protocol(ATM)	ATM PVC、SVC、VC クラス、または VC バンドルのスタティック マップを 設定します。次に、直接 PVC 上、VC バンドル上、または VC クラス内で Inverse ARP を設定することによって、ATM PVC の Inverse ARP または Inverse ARP ブロードキャストをイネーブルにします(IP および IPX プロトコルだけ に適用)。
pvc-bundle	PVC をバンドルのメンバーとしてバンドルに追加し、その PVC バンドルメンバーを設定するために bundle-vc コンフィギュレーション モードに入ります。
ubr	UBR QoS を設定し、ATM PVC、SVC、VC クラス、または VC バンドル メンバーの出力ピーク セル レートを指定します。
ubr+	UBR QoS を設定し、ATM PVC、SVC、VC クラス、または VC バンドル メンバーの出力ピーク セル レートと出力最小保証セル レートを指定します。
vc-classatm	ATM PVC、SVC、または ATM インターフェイス用に VC クラスを作成し、 VC-class コンフィギュレーション モードを開始します。

# vbr-rt

VoATM 音声接続のリアルタイム可変ビットレート(VBRI)を設定するには、vbr-rt コマンド を該当するコンフィギュレーション モードで使用します。音声接続の VBR を無効にするに は、このコマンドの no 形式を使用します。

vbr-rt peak-rate average-rate burst no vbr-rt

### 構文の説明

	単位の音声接続のピーク情報レート (PIR) (KB/秒 (KBps))。キャリアのラインレートを超えない場合は、ラインレートに設定します。範囲は 56 ~ 10000です。
average-rate	音声接続の平均情報レート(AIR)(単位:kbps)。
burst	バーストサイズ(セルの数)。範囲は0~65536です。

## コマンド デフォルト

リアルタイム VBR 設定は設定されていません。

## コマンドモード

ATM Bundle-vc コンフィギュレーション(ATM VC バンドル メンバーの場合)

ATM PVP コンフィギュレーション (ATM PVP の場合)

Interface-ATM-VC コンフィギュレーション(ATM 相手先固定接続(PVC)または相手先選択 接続(SVC)の場合)

VC-class コンフィギュレーション(仮想回線(VC)クラスの場合)

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.0	このコマンドが Cisco MC3810 に追加されました。
12.1(5)XM	このコマンドが Cisco 3600 シリーズ ルータに実装され、Simple Gateway Control Protocol(SGCP)および Media Gateway Control Protocol(MGCP)をサポートするために変更されました。
12.2(2)T	このコマンドが Cisco IOS Release 12.2(2)T に統合されました。
12.2(11)T	このコマンドが Cisco AS5300 および Cisco AS5850 で実装されました。
Cisco IOS XE リリース 2.3	このコマンドが、ATM PVP コンフィギュレーション モードで使用 できるようになりました。

使用上のガイドライン このコマンドは、音声 PVC とデータ PVC の間のトラフィック シェーピングを設定します。 キャリアがコールを廃棄しないために、トラフィック シェーピングが必要です。音声および データのトラフィックシェーピングを設定するには、音声トラフィックにピークオプション、 平均オプション、および、バーストオプションを設定する必要があります。PVC がバースト トラフィックを搬送する場合は、バースト値を設定します。音声コールの数に対する帯域幅を PVC が効果的に処理するために、ピーク値、平均値、バースト値が必要です。

音声コールの数に対して、次のように最小ピーク値、平均値、バースト値を計算します。

## ピーク値

ピーク値 = (2 x 最大コール数) x 16K =

### 平均值

PVC が搬送するコールの最大数に、コールあたりの帯域幅を掛けて計算します。次の式は、kbps 単位の平均レートを計算します。

- VoIP の場合
  - G.711、サンプル サイズが 40 バイトまたは 80 バイト

平均値 = 最大コール数 x 128K =

• G.726、サンプル サイズが 40 バイト

平均値 = 最大コール数 x 85K = \_\_\_\_\_

• G.729a、サンプル サイズが 10 バイト

平均値 = 最大コール数 x 85K =

- VoATM アダプテーション レイヤ 2 (VoAAL2)
  - G.711、サンプル サイズが 40 バイト

平均値 = 最大コール数 x 85K =

• G.726、サンプル サイズが 40 バイト

平均値 = 最大コール数 x 43K =

• G.729a、サンプル サイズが 10 バイト

平均値 = 最大コール数 x 43K =

音声アクティビティ検出 (VAD) がイネーブルである場合、最大数のコールが進行中であれば、帯域幅利用は 12% 削減されます。進行中のコールが少なければ、帯域幅の削減は少なくなります。

## バースト値

可能なかぎり大きいバースト サイズを設定し、最小バースト サイズを下回るサイズは設定しません。ガイドラインは次のとおりです。

- 最小バーストサイズ=4x音声コール数=\_\_\_\_\_
- 最大バースト サイズ = キャリアが認める最大 = \_\_\_\_\_

音声 PVC を使用してトラフィック シェープされるデータ PVC を設定する場合、AAL5snap カプセル化を使用し、オーバーヘッドを音声レートの 1.13 倍として計算します。

例

次に、ATM PVC 20 のトラフィック シェーピング レートを設定する例を示します。 ピーク レート、平均レート、バースト レートは、PVC の最大コール数である 20 に基づいて計算されます。

pvc 20
 encapsulation aal5mux voice
 vbr-rt 640 320 80

コマンド	説明
encapsulationaal5	ATM PVC、SVC、または、VC クラスの AAL およびカプセル化タイプを設定します。

# vc-class atm

ATM 相手先固定接続(PVC)、相手先選択接続(SVC)、または ATM インターフェイスの仮 想回線(VC)クラスを作成して、VC-classコンフィギュレーションモードを開始するには、 vc-class atm グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。VC クラスを削除す るには、このコマンドの no 形式を使用します。

vc-class atm name no vc-class atm name

構文の説明

name VC クラスの名 前。

コマンドデフォルト

VCクラスは定義されません。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
11.3 T	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャセット、プラットフォーム、およびプラットフォームハードウェアによって異なります。
Cisco IOS XE Release 2.5	このコマンドが Cisco ASR 1000 シリーズ ルータに実装されました。

使用上のガイドライン SVC コマンド(たとえば idle-timeout または oam-svc コマンド)が PVC に適用される場合、 そのコマンドは無視されます。これは、PVC コマンドが SVC に適用される場合にも当てはま ります。

例

以下に、「pvc qos」という名前の VC クラスを作成する例を示します。

vc-class atm pvc-qos